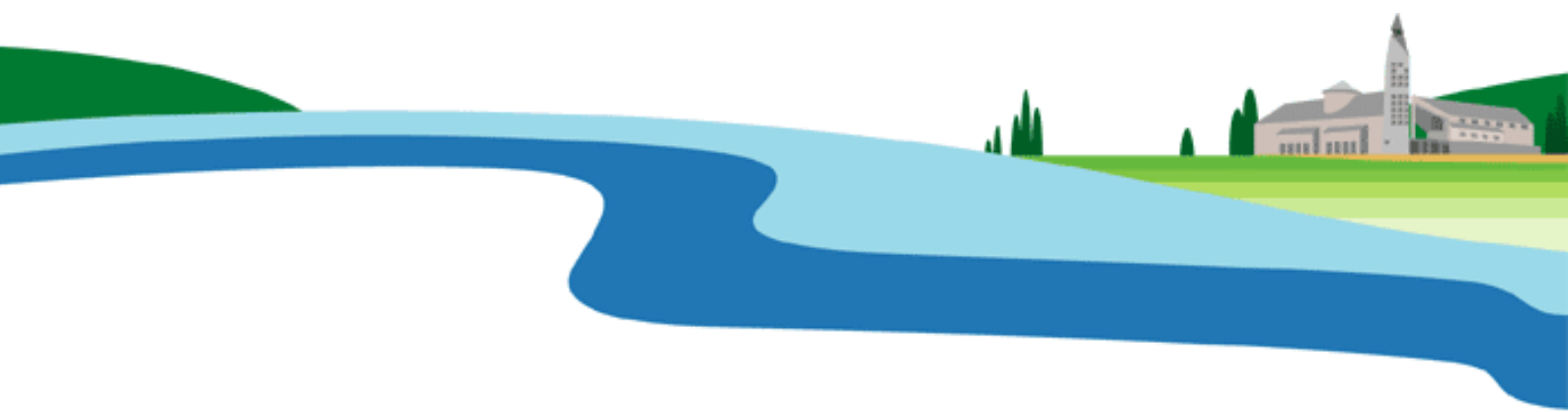




滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

目 次

1110121	英語	A (活性化コース)	(人文)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	1
1110122	英語	B (活性化コース)	(人文)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	3
1110131	英語	A (活性化コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	5
1110132	英語	B (活性化コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	7
1110141	英語	A (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	9
1110142	英語	B (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	11
1110151	英語	A (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110152	英語	B (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110161	英語	A (活性化コース)	(人文)	北島 美咲	前期	・ ・ ・	17
1110162	英語	B (活性化コース)	(人文)	北島 美咲	後期	・ ・ ・	19
1110331	英語	A (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	21
1110332	英語	B (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	23
1110341	英語	A (応用コース)	(人文)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	25
1110342	英語	B (応用コース)	(人文)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	27
1110351	英語	A (応用コース)	(人文)	Ashley Mark Stevens	前期	・ ・ ・	29
1110352	英語	B (応用コース)	(人文)	Ashley Mark Stevens	後期	・ ・ ・	31
1110361	英語	A (応用コース)	(人文)	Gordon Maclaren	前期	・ ・ ・	33
1110362	英語	B (応用コース)	(人文)	Gordon Maclaren	後期	・ ・ ・	35
1110371	英語	A (応用コース)	(人文)	Alan Neill	前期	・ ・ ・	37
1110372	英語	B (応用コース)	(人文)	Alan Neill	後期	・ ・ ・	39
1110531	英語	A (充実コース)	(人文)	真田 満	前期	・ ・ ・	41
1110532	英語	B (充実コース)	(人文)	真田 満	後期	・ ・ ・	43
1110541	英語	A (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	45
1110542	英語	B (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	47
1110551	英語	A (充実コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	49
1110552	英語	B (充実コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	51
1110561	英語	A (充実コース)	(人文)	吉田 亞矢	前期	・ ・ ・	53
1110562	英語	B (充実コース)	(人文)	吉田 亞矢	後期	・ ・ ・	55
1110571	英語	A (充実コース)	(人文)	Ashley Mark Stevens	前期	・ ・ ・	57
1110572	英語	B (充実コース)	(人文)	Ashley Mark Stevens	後期	・ ・ ・	59
1110741	英語	A (展開コース)	(人文)	坂元 敦子	前期	・ ・ ・	61
1110742	英語	B (展開コース)	(人文)	坂元 敦子	後期	・ ・ ・	63
1110751	英語	A (展開コース)	(人文)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	65
1110752	英語	B (展開コース)	(人文)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	67
1110761	英語	A (展開コース)	(人文)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	69
1110762	英語	B (展開コース)	(人文)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	71
1110771	英語	A (展開コース)	(人文)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	73
1110772	英語	B (展開コース)	(人文)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	75
1110781	英語	A (展開コース)	(人文)	坂元 敦子	前期	・ ・ ・	77
1110782	英語	B (展開コース)	(人文)	坂元 敦子	後期	・ ・ ・	79
1130090	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文a)	森 将豪	前期	・ ・ ・	81	
1130100	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文b)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	83	
1130110	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文c)	森 将豪	前期	・ ・ ・	85	
1130120	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文d)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	87	
1130200	情報科学概論 (人文b)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	89		
1130210	情報科学概論 (人文a)	森 将豪	後期	・ ・ ・	91		
1130220	情報科学概論 (人文c)	森 将豪	後期	・ ・ ・	93		
1130230	情報科学概論 (人文d)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	95		
1150390	人間探求学 (地域文化)	学科教員	前期	・ ・ ・	97		
1150480	比較文明論 定森 秀夫	後期	・ ・ ・	99			
1400020	アジア・地域交流論 A	田中 俊明	後期	・ ・ ・	101		
1400030	アジア・地域交流論 B	Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	103		
1400040	アジア・地域交流論 C	定森 秀夫	後期	・ ・ ・	105		
1400060	アジア社会論	北村 由美	前期	・ ・ ・	107		
1400065	アジア文献講読 A	定森 秀夫	通年	・ ・ ・	109		
1400066	アジア文献講読 B	田中 俊明	通年	・ ・ ・	111		
1400067	アジア文献講読 C	横田 祥子	通年	・ ・ ・	113		
1400090	インド・チベット地域文化論	棚瀬 慈郎	後期	・ ・ ・	115		
1400105	英書講読 (地域文化)	市川 秀之	通年	・ ・ ・	117		
1400360	環琵琶湖文化論実習 (地域文化)	学科教員	通年	・ ・ ・	119		
1400370	漢文講読	田中 俊明	通年	・ ・ ・	121		
1400390	基層文化論	中井 均	後期	・ ・ ・	123		
1400560	近世近江論	東 幸代	前期	・ ・ ・	125		
1400600	芸術学	亀井 若菜	後期	・ ・ ・	127		
1400680	現代社会論 (人間文化)	丸山 真央	後期	・ ・ ・	129		
1400690	現代中国論	横田 祥子	前期	・ ・ ・	131		
1400740	考古学	中井 均	前期	・ ・ ・	133		
1400741	考古学実習	定森 秀夫	前期	・ ・ ・	135		
1400742	考古学実習	定森 秀夫	後期	・ ・ ・	137		
1400750	考古学特論	定森 秀夫	後期	・ ・ ・	139		
1400751	考古学特論 A	中井 均	後期	・ ・ ・	141		
1400752	考古学特論 B	定森 秀夫	後期	・ ・ ・	143		
1400760	考古地理実習	中井 均	後期	・ ・ ・	145		
1400770	考古地理実習 A	定森 秀夫	通年	・ ・ ・	147		
1400780	考古地理実習 B	塚本 礼仁	通年	・ ・ ・	149		

1400890	古文書演習 水野 章二 前期	・ ・ ・	151
1400900	古文書演習 東 幸代 後期	・ ・ ・	153
1400970	自然地理学 渡邊 三津子 後期集中	・ ・ ・	155
1400980	質的データ解析論 武田 俊輔 後期	・ ・ ・	157
1401050	社会学概論 武田 俊輔 前期	・ ・ ・	159
1401060	社会学史 中村 好孝 前期	・ ・ ・	161
1401120	社会調査実習（地域文化、人間関係） 武田 俊輔 通年	・ ・ ・	163
1401130	社会調査方法論 大橋 松行 前期	・ ・ ・	165
1401140	社会調査論 大橋 松行 前期	・ ・ ・	167
1401500	人文地理学A 塚本 礼仁 後期	・ ・ ・	169
1401510	人文地理学B 塚本 礼仁 後期	・ ・ ・	171
1401750	西洋史概説 北村 知之 前期集中	・ ・ ・	173
1401790	組織とネットワークの社会学 藤岡 伸明 前期集中	・ ・ ・	175
1401830	卒業研究・論文（地域文化） 学科教員	・ ・ ・	177
1401840	对外文化交流論A 田中 俊明 前期	・ ・ ・	179
1401850	对外文化交流論B 定森 秀夫 前期	・ ・ ・	181
1401860	对外文化交流論C Borjigin Burensain 後期	・ ・ ・	183
1401900	地域経済史論 東 幸代 後期	・ ・ ・	185
1401920	地域研究論 上田 洋平 前期	・ ・ ・	187
1401930	地域考古学A 中井 正幸 前期集中	・ ・ ・	189
1401940	地域考古学B 濱 修 後期集中	・ ・ ・	191
1401980	地域と空間 市川 秀之 後期	・ ・ ・	193
1401990	地域文化演習 学科教員 通年	・ ・ ・	195
1402000	地域文化演習 学科教員 通年	・ ・ ・	197
1402010	地域文化演習 学科教員 通年	・ ・ ・	199
1402011	地域文化基礎演習 学科教員 後期	・ ・ ・	201
1402030	地域文化財論B 濱崎 一志 後期	・ ・ ・	203
1402050	地誌学 塚本 礼仁 前期	・ ・ ・	205
1402080	中国・内モンゴル地域文化論 Borjigin Burensain 後期	・ ・ ・	207
1402090	中国語文献講読 横田 祥子 通年	・ ・ ・	209
1402100	中国地域文化特論 前田 尚美 前期	・ ・ ・	211
1402110	中国地域文化論 横田 祥子 後期	・ ・ ・	213
1402160	朝鮮語文献講読 定森 秀夫 通年	・ ・ ・	215
1402170	朝鮮地域文化特論 安田 純也 前期	・ ・ ・	217
1402190	朝鮮地域文化論B 河 かおる 前期	・ ・ ・	219
1402200	朝鮮文化論 河 かおる 後期	・ ・ ・	221
1402201	地理学実習 塚本 礼仁 前期	・ ・ ・	223
1402202	地理学実習 塚本 礼仁 後期	・ ・ ・	225
1402240	哲学概論A 鞍田 崇 前期集中	・ ・ ・	227
1402360	統計学基礎 細馬 宏通 前期	・ ・ ・	229
1402370	東洋史概説 田中 俊明 後期	・ ・ ・	231
1402380	日本・地域交流特論 京樂 真帆子 後期	・ ・ ・	233
1402390	日本史概説 水野 章二 前期	・ ・ ・	235
1402400	日本社会論 武田 俊輔 後期	・ ・ ・	237
1402420	日本史料講読 東 幸代 通年	・ ・ ・	239
1402440	日本文化史論 京樂 真帆子 前期	・ ・ ・	241
1402442	日本文化史論B 京樂 真帆子 前期	・ ・ ・	243
1402450	日本文化論 京樂 真帆子 前期	・ ・ ・	245
1402540	人間文化論A 細馬 宏通 前期	・ ・ ・	247
1402550	人間文化論B 呉 凌非 後期	・ ・ ・	249
1402560	人間文化論C 宮本 雅子 後期	・ ・ ・	251
1402580	農耕社会論 Borjigin Burensain 後期	・ ・ ・	253
1402601	博物館経営論 市川 秀之 前期	・ ・ ・	255
1402602	博物館展示論 亀井 若菜 後期	・ ・ ・	257
1402665	地域と行政 宗野 隆俊 前期	・ ・ ・	259
1402705	地域と経済 秋山 道雄 前期	・ ・ ・	261
1402710	比較文化論（地域文化） 石川 慎治 後期	・ ・ ・	263
1402711	東アジア考古学概論 定森 秀夫 後期	・ ・ ・	265
1402712	東アジア世界論 田中 俊明 後期	・ ・ ・	267
1402731	美術史A 亀井 若菜 前期	・ ・ ・	269
1402740	美術史概論 亀井 若菜 前期	・ ・ ・	271
1402741	美術史実習 亀井 若菜 前期	・ ・ ・	273
1402920	文化財・保存修景論A 濱崎 一志 前期	・ ・ ・	275
1402940	文化財情報論 濱崎 一志 後期	・ ・ ・	277
1402950	文化社会学 武田 俊輔 前期	・ ・ ・	279
1402960	文化人類学概論A 島村 一平 前期	・ ・ ・	281
1402970	文化人類学概論B 棚瀬 慈郎 後期	・ ・ ・	283
1402980	文化人類学特論 棚瀬 慈郎 前期	・ ・ ・	285
1403020	民俗学 市川 秀之 後期	・ ・ ・	287
1403030	民俗学実習 市川 秀之 後期	・ ・ ・	289
1403031	民俗学特論 市川 秀之 後期	・ ・ ・	291
1403070	モンゴル地域文化論 島村 一平 前期	・ ・ ・	293
1403100	量的データ解析論 丸山 真央 前期	・ ・ ・	295
1403110	量的データ解析論 岡本 裕介 後期集中	・ ・ ・	297
1403210	歴史的地域論 水野 章二 後期	・ ・ ・	299

講義名	英語 A（活性化コース）（人文 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（人文 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　A（活性化コース）（人文　）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（活性化コース）（人文　）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（人文 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力がつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト(筆記式)を毎回行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（活性化コース）（人文　）					担当教員	佐久間　思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力がつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト（筆記式）を毎回行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
5. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。

遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。

予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	97848600133
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語　A（活性化コース）（人文　）					担当教員	西澤　裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	Roman Holiday (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	Roman Holiday (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	Roman Holiday (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	Roman Holiday (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	Roman Holiday (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	Roman Holiday (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	Roman Holiday (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	Roman Holiday (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	Roman Holiday (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	Roman Holiday (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	Roman Holiday (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	Roman Holiday (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	Roman Holiday (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	Roman Holiday (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	Roman Holiday (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	Roman Holiday (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	Roman Holiday (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	Roman Holiday (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	Roman Holiday (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	Roman Holiday (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	Roman Holiday (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	Roman Holiday (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	Roman Holiday (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	Roman Holiday (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	Roman Holiday (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	Roman Holiday (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	Roman Holiday (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	Roman Holiday (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 B（活性化コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
5. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	40%	リスニングに関するレポート課題20% 語彙に関する小テスト20%
上記以外	10%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	97848600133
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第3回	Roman Holiday (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第4回	Roman Holiday (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第5回	Roman Holiday (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第6回	Roman Holiday (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第7回	Roman Holiday (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第8回	Roman Holiday (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第9回	Roman Holiday (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第10回	Roman Holiday (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第11回	Roman Holiday (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第12回	Roman Holiday (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第13回	Roman Holiday (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第14回	Roman Holiday (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第15回	Roman Holiday (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第16回	Roman Holiday (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第17回	Roman Holiday (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第18回	Roman Holiday (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第19回	Roman Holiday (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第20回	Roman Holiday (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第21回	Roman Holiday (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第22回	Roman Holiday (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第23回	Roman Holiday (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第24回	Roman Holiday (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第25回	Roman Holiday (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第26回	Roman Holiday (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第27回	Roman Holiday (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第28回	Roman Holiday (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第29回	Roman Holiday (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習
第30回	Roman Holiday (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください。

講義名	英語 A（活性化コース）（人文 ）					担当教員	北島 美咲
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。
具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。（各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1)について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2)について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3)について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1)について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1)(5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。
進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（活性化コース）（人文　）					担当教員	北島　美咲
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。
具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。(各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。)

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1) について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2) について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3) について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1) について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1) (5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。
進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（人文 ）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（応用コース）（人文 ）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（人文 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（人文　）					担当教員	岡本　マイケル
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（人文 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Written Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（人文　）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Writing Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（人文 ）					担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（応用コース）（人文 ）					担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（人文 ）					担当教員	Alan Neill
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test.
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

授業外学習

Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（人文　）					担当教員	Alan Neill
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（人文 ）					担当教員	真田 満
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

TED Talksから厳選された現代社会の諸問題に関するエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読むという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	21st Century Reading 2	Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates	Cengage	9781305265707
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	真田 満
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

TED Talksから厳選された現代社会の諸問題に関するエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読むという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	21st Century Reading 2	Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates	Cengage	9781305265707
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ
担当者から一言		
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて		

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ
担当者から一言		
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて		

講義名	英語 A（充実コース）（人文 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（人文）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

[illegible]

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

[illegible]

講義名	英語　A（充実コース）（人文　）					担当教員	吉田　亜矢
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

世界で使用されている様々な英語を“World Englishes”と呼ぶことがあるが、今や英語は英語母語話者同士で、または英語母語話者と話すためだけに必要な言語ではなく、この呼称が物語るように、英語非母語話者の人々との意思疎通を図るためにも有用な言語である。前期は、世界各国を旅するレポーターからの英語ニュースとインタビューを視聴しながら、その国の言語・文化への理解を深めつつ、総合的な英語力を養う。テキストの各章は、リーディングとリスニングの構成になっているが、英語でレポートを作成したり（ライティング）、英語の質問に対して英語で答え、それを録音する（スピーキング）などの課題も随時提示される。受講者には、翻訳作業を除いて、可能な限り英語で受け答えをし、ディスカッションすることが求められる。

到達目標

- (1) “World Englishes”の概念を理解し、それについて自らの意見を述べる
- (2) 各国の旅事情、世界の英語事情について議論し、その結果を英語で発表する
- (3) 世界の国々の特色について、英語で簡潔に説明する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、期末テストを行い、全体の40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(2)について、到達度確認テストを行い、全体の30%として評価。 到達目標(3)について、隔週の小テスト(10%)および各回のレポート作成・録音作業(20%)にて全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	On Board for More World Adventures	Scott Berlin・小林めぐみ	金星堂	978-4-7647-3991-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English as a Global Language	David Crystal	Cambridge University Press	978-1107611801
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	吉田 亞矢
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

前期に引き続き、世界各国を旅するレポーターからの英語ニュースとインタビューを視聴しながら、その国の言語・文化への理解を深めつつ、英語の四技能（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養う。後期は特に、英語が世界共通語と呼ばれるまでに至った背景的知識を得るため、サブテキストとしてDavid Crystal著 English as a Global Language を参照する。前期同様、受講者には、翻訳作業を除いて、可能な限り英語で受け答えをし、ディスカッションすることが求められる。リーディングとリスニング問題を軸に、英語でレポートを作成したり（ライティング）、英語の質問に対して英語で答え、それを録音する（スピーキング）などの課題も随時提示される。

到達目標

- (1) “World Englishes” に関する発展問題に、自らの意見や引用文を用いて解答する
- (2) 世界の旅事情、今後の英語事情について議論し、その結果を英語で発表する
- (3) 世界の国々の特色について、英語で詳細に説明する

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (1) について、期末テストを行い、全体の40%として評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (2) について、到達度確認テストを行い、全体の30%として評価。 到達目標 (3) について、隔週の小テスト(10%)および各回のレポート作成・録音作業(20%)で評価。

< 出席について >

授業への積極的な参加は前提である。出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	On Board for More World Adventures	Scott Berlin・小林めぐみ	金星堂	978-4-7647-3991-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English as a Global Language	David Crystal	Cambridge University Press	978-1107611801
2				
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

< 辞書について >

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（人文 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Presentation. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking tests. 30% Final Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（人文 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	70% Final Presentation. 30% Mid-Term Presentation.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文 ）					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業ではノーベル賞受賞スピーチを扱ったテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。扱うスピーチは2014年の受賞者によるもので、特に教育問題や世界のさまざまな問題に関する話題が中心である。このため、スピーチに関連する本やサイトを調べて必要な情報を集めたり、その結果や自分の意見を英語で発表したりするアクティビティもある。なお授業では実際のスピーチを映像により毎回確認し、話者の抑揚や表情、間など聴衆に訴えかけるための工夫についても考える。このテキスト以外に、Japan Timesのニュース記事、科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

到達目標

- (1) テキスト等の英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) 自分の意見やリサーチ結果を英語で発表できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Learn English through Malala's Speeches	坂元敦子ほか	英光社	
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	I an Malala	Malala Yousafzai	Back Bay Books	9780316377560
2	私はマララ	マララ・ユスフザイ	学研	978-4054058460
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（展開コース）（人文　）					担当教員	坂元　敦子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

この授業では観光英語のテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。このテキストでは出入国や機内英語、現地に到着してから必要となるホテルや交通手段、レストランや大学訪問等、実際に役立つスキットが数多く紹介されているので、そのシーンを思い浮かべながらペアワークやグループワークでアクティビティを行う。なお授業では関連する航空会社や鉄道会社、レストランやホテル、銀行等のサイトも扱うので、これらを各自で事前に調べたり内容を発表したりする作業も必要となる。このテキスト以外に、Japan Timesからのニュース記事や科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。またTOEICに出題される旅行や観光関連の問題をピックアップして授業内で問題に取り組む。

授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

到達目標

- (1) テキストの英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。
- (5) 自分の意見や課題を英語で発表できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。 TOEICのスコアをのばす。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（展開コース）（人文　）					担当教員	村上　幸太郎
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

到達目標

教科書決定後にお知らせします。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文 ）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- （１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（40％）。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（30％）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（30％）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰（監修）	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（人文 ）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を 4 回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰 (監修)	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（人文 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

到達目標

教科書決定後にお知らせします。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文 ）					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業ではノーベル賞受賞スピーチを扱ったテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。扱うスピーチは2014年の受賞者によるもので、特に教育問題や世界のさまざまな問題に関する話題が中心である。このため、スピーチに関連する本やサイトを調べて必要な情報を集めたり、その結果や自分の意見を英語で発表したりするアクティビティもある。なお授業では実際のスピーチを映像により毎回確認し、話者の抑揚や表情、間など聴衆に訴えかけるための工夫についても考える。このテキスト以外に、Japan Timesのニュース記事、科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

到達目標

- (1) テキスト等の英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) 自分の意見やリサーチ結果を英語で発表できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Learn English through Malala's Speeches	坂元敦子ほか	英光社	
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	I an Malala	Malala Yousafzai	Back Bay Books	9780316377560
2	私はマララ	マララ・ユスフザイ	学研	978-4054058460
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（人文 ）					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

この授業では観光英語のテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。このテキストでは出入国や機内英語、現地に到着してから必要となるホテルや交通手段、レストランや大学訪問等、実際に役立つスキットが数多く紹介されているので、そのシーンを思い浮かべながらペアワークやグループワークでアクティビティを行う。なお授業では関連する航空会社や鉄道会社、レストランやホテル、銀行等のサイトも扱うので、これらを各自で事前に調べたり内容を発表したりする作業も必要となる。このテキスト以外に、Japan Timesからのニュース記事や科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。またTOEICに出題される旅行や観光関連の問題をピックアップして授業内で問題に取り組む。
授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

到達目標

- (1) テキストの英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。
- (5) 自分の意見や課題を英語で発表できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。 TOEICのスコアをのばす。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)					担当教員	森 将豪 / 酒井 道
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す (1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	4130033050/978-4130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)					担当教員	森 将豪 / 酒井 道
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに、情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学術論文発表の手法を習得する。

到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す (1)大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用によって学術学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること、(2)論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3)設定した問題に対し、彼我
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	4130033050/978-4130033053
2				
3				

前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報科学概論（人文b）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- （１）Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（２）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（人文a）					担当教員	森 将豪 / 酒井 道
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解（講義「情報リテラシー」を修得）していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論（人文c）					担当教員	森 将豪 / 酒井 道
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術を含む情報リテラシーの習得を前提とし、高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。
特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。
さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。
- (2) 表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。
- (3) What-If分析を理解し、応用できる。
- (4) 回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。
- (5) アンケート分析の手法を理解するとともにクロス集計ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1)数式バーに自由に計算式を書くことができ、かつ組込関数も利用できる。(2)表の可視化を行うことができ、それについて科学的な考察を加えることができる。(3)What-If分析を理解し、応用できる。(4)回帰分析を理解し、収集したデータを単・重回帰分析してその詳細を説明できる。(5)アンケート分析の手法を理解すると
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に随時担当教員から示される。

前提学力等

レポートと学術論文の基本概念を理解（講義「情報リテラシー」を修得）していること。
初等統計学の基礎を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	情報科学概論（人文d）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- （１）Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
（２）データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	人間探求学（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1150390	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM101						

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探究し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。

到達目標

- (1)自らの考えを他者にわかりやすく説明することができる。
- (2)他者の考えをじっくり理解することができる。
- (3)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあうことができる。
- (4)人権感覚を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)自らの考えを他者にわかりやすく説明することができるについては、各小人数グループを担当する教員が設定したテーマに基づくレポートの提出により、評価を行う(30%)。 (2)他者の考えをじっくり理解することができる(30%)、(3)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発

授業外学習

レポート（1回）、また回によっては出席カードを兼ねたレスポンス・ペーパーを提出してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

担当教員が指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

担当教員が指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1150390	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM101						

[illegible]

講義名	比較文明論					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1150480	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230EXC201						

授業概要

古代文明の発生・展開・消滅の過程から、現代文明の未来を展望してみたい。古代文明にはエジプト文明・メソポタミア文明・インダス文明・中国文明の四大文明があり、新大陸にはインカ・マヤ・アステカ文明などがよく知られているが、その他に多様な文明が知られるようになってきた。本授業では、古代文明の相互の比較検討を通して、文明相互の共通性と相違性を認識し、時代と地域を越えて文明の融合は可能なのか、もし融合が可能でないとしたら、文明間の相互理解はどのようにしたら可能なのか、を考えていく契機を提供したい。

到達目標

1. 古代文明の内容を理解する2. 古代文明と現代文明を時代と地域を越えて比較検討できるようにする3. 文明間の相互理解のための方策を考える

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域交流論 A					担当教員	田中 俊明
講義コード	1400020	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

日本と朝鮮半島の関係に関する知識を共有することを目的とする。今期は、百済との関係である。百済は、朝鮮三国の1つとして、朝鮮半島の中部西側におこり、西南部を領有するようになるが、その当初から倭との関係も深く、また百済からの渡来人が日本文化の形成にも大きな影響を与えた。その建国から滅亡に至るまでの過程と、倭国・日本との関わりを扱うことにしたい。

到達目標

百済の歴史、日本との関係について知識を得る。主体的に関わってもらい、古代の関係のありかたに関心をもつようになることもめざす。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	期末試験期間の試験
レポート課題	20	レポートを1回課す。テーマ、締切等は、最初の授業で伝える。
上記以外		

授業外学習

参考書は、適宜指示するので、みずから知識を高める努力をしてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校時代の、日本史・世界史教科書を見直し、百済および百済と日本との関係について記されていることを自分の知識としているかどうかを確認する。

履修資格

講義名	アジア・地域交流論 B					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400030	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

この講義では、アジアにおける人と物の交流がどのようなパターンで行われてきたのかを中国とモンゴル、中国と満洲との関係から立体的に捉えていきたい。常に現代に着目して、歴史と今日との間に行き来することによって立体的な多民族、多文化地域社会の姿を描き出したい。

到達目標

万里の長城と柳条辺を挟んだ中国大陆における人と物の交流を歴史的視点から理解できることを目指す。多民族、多文化が交錯する該当地域における複雑な現状に関してもある程度の視点を持てるようにしたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア・地域交流論C					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1400040	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

朝鮮半島は、旧石器時代から現在に至るまで日本と非常に関係が深い。朝鮮考古学の概要を理解し、日本考古学と比較してその相違性と相似性を理解することを目的とする。まず最初に、朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史の概要を講義する。そして、旧石器時代から朝鮮時代までの各時代における考古学の成果と問題点を概説する。場合によっては、主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して、理解を深める。

到達目標

1．朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史を理解する 2．旧石器時代から統一新羅時代までの朝鮮考古学の内容を理解する 3．日本考古学と比較して、日本と朝鮮との歴史的な関係を考える

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア社会論					担当教員	北村 由美
講義コード	1400060	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230EXC207						

授業概要

グローバル化が進む今日、アジア社会は急速に変貌を遂げている。本講義では、特に東南アジア社会に焦点をあてながら、現代アジアの社会変化の中で、日本で生活する我々の生活がどのように関係しているかを考えていく。講義では、単に知識としてアジア社会を知るのではなく、アジア社会をとおして日本社会を見つめ直し、自らに関わる問いとして考える姿勢を重視するため、グループでの発表や討議を実施する予定である。なお、実際の授業や課題の内容は、受講生の理解度や興味を考慮して、随時変更していく可能性がある。

到達目標

- (1) アジア社会にかんする基礎的な知識を身につけるとともに、アジアにおける社会変化と人びとの生活を、近代化ならびにグローバル化との関わりにおいて動態的に把握できる。
- (2) 身のまわりの出来事の中から、アジアとのつながりを探り、その差異と共通性について考察し、自らの考えを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・新聞・雑誌、一般書だけでなく、学術書を読解、整理した上で、各自の考察を示している。 ・適切な引用を行った上で、参考文献リストを添付している。
上記以外	50	発表：40% ・授業内容をふまえた上で、興味のある内容について一方踏み込んだ、調査を行い、魅力的な発表にできている。

レポートや発表資料では、必ず適切な引用を行う。コピペが発見された場合は、単位を出さない。

授業外学習

- ・毎回、次週のテーマに即した新聞記事を読んてくる。
- ・受講者の人数が多い場合は、学期末の発表をグループ発表にする予定である。グループ発表の場合は、授業外でのグループワークが必要になる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト・指定図書：なし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の進行具合に応じて適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文献講読 A					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1400065	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC204						

授業概要

東アジアの考古学の成果を吸収することは、日本考古学研究を進めていく上で必須になりつつあるといっても過言ではない。特に、朝鮮半島など韓国語で刊行された報告書・書籍および考古学関係雑誌掲載論文の中から重要と思われる文献を選び、講読し日本語訳文を作成していく。

到達目標

1. 辞書を使用して韓国語で書かれた考古学の文献を訳すことができるようになる。
2. 考古学の文献の日本語訳文を作成して、翻訳した韓国考古学文献の内容を理解する。
3. 日本考古学と韓国考古学との比較検討ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業への出席と翻訳担当部分の発表内容を評価基準とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語(初級コース)を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	アジア文献講読 A					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1400065	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC204						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	購読文献の決定	授業の注意と進め方の説明。購読する文献を決める。購読文献の担当部分の決定。
第2回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第3回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第4回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第5回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第6回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第7回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第8回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第9回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第10回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第11回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第12回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第13回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第14回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第15回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第16回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第17回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第18回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第19回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第20回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第21回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第22回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第23回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第24回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第25回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第26回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第27回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第28回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第29回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第30回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
担当者から一言		

講義名	アジア文献講読 B					担当教員	田中 俊明
講義コード	1400066	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC205						

授業概要

わたしが担当している「漢文講読」の上級版。履修済みであることが絶対条件ではないが、内容的には、「漢文講読」履修レベルの高度な読解をめざす。履修していない場合は、自分でそのレベルまで到達するように、自習をしておく（どのようにするかは、相談にのります）。テキストは相談して決めるが、決まったらそれをコピーして配布する。基本的には現代活字・点校本にするが、ない場合は、板本の影印になるかも知れない（その場合、当然ながら、句読点はない）。授業は、毎回テキストを訓読し、現代語訳・註解をつける。

到達目標

中国・朝鮮・日本における前近代の史料は、漢文史料がかなりの割合を占める。「漢文講読」において基礎的な知識を身につけているので、より高度な読解について、実際に講読することを通して、理解を深める。史料が自分で読めるようになることが目標である。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	上記、小テストとするもの。2回実施する。レポート課題に対応する。
上記以外	60	日々の講読の準備・読解態度・そのでき、など。講読なので、毎回出て、指名されて答えることが必要。その対応も含める。

欠席が多くても、評価される場合もあるが、難しいと思う。まずは出席し、こちらが指摘したことを理解し、身につけ、自らの訓読・現代語訳・註解作業に活かす必要がある。

授業外学習

上記のように、自ら訓読・現代語訳・註解を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、上記のとおり、コピー配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

上記のように、「漢文講読」が履修済みであるか、そうでない場合に、ついてこれる知識が必要（程度については、相談にのります）。

履修資格

講義名	アジア文献講読 B					担当教員	田中 俊明
講義コード	1400066	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC205						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	テキストの選定	受講生と相談して、テキストを選定する。
第2回	進め方の説明	選定したテキストをコピー配布し、そのテキストの内容・成立についての解説、および今後の進め方を説明する。
第3回	講読 1	以下は、実際に講読を進める。
第4回	講読 2	同上
第5回	講読 3	同上
第6回	講読 4	同上
第7回	講読 5	同上
第8回	講読 6	同上
第9回	講読 7	同上
第10回	講読 8	同上
第11回	講読 9	同上
第12回	講読 1 0	同上
第13回	講読 1 1	同上
第14回	講読 1 2	同上
第15回	講読 1 3 ・小テスト	同上
第16回	講読 1 4	同上
第17回	講読 1 5	同上
第18回	講読 1 6	同上
第19回	講読 1 7	同上
第20回	講読 1 8	同上
第21回	講読 1 9	同上
第22回	講読 2 0	同上
第23回	講読 2 1	同上
第24回	講読 2 2	同上
第25回	講読 2 3	同上
第26回	講読 2 4	同上
第27回	講読 2 5	同上
第28回	講読 2 6	同上
第29回	講読 2 7	同上
第30回	講読 2 8 ・小テスト	同上
担当者から一言		

講義名	アジア文献講読 C					担当教員	横田 祥子
講義コード	1400067	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC206						

授業概要

中国語の新聞・雑誌・論文などの読解を通じて、中国語の高度な表現を学ぶとともに、現代中国事情を理解する。また、ピンイン・発音など基礎能力の確認と、基礎表現の定着をはかる。

到達目標

中国語メディアを日常的に利用できる語学力を身につける。また、中国語文献を読み、中国事情を理解できるようになることを目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) 中国語のピンインを正しく表記し、正確に発音できる。(10%) (2) 中国語の文章を的確に読解できる。(10%) (3) 日本語の文章を中国語に翻訳できる。(10%)
レポート課題	30	中国語の新聞・雑誌・論文を読んで理解し、適当な日本語に翻訳できる。
上記以外	40	毎回授業開始時に実施するテストで、単語・ピンイン・文章を正確に書ける。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

毎回、予習をしてきてください。電子辞書があると便利です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語文法教室	杉浦博文	大修館書店	9784469231212
2	中国語の文法スーパーマニュアル——中国語の奥底を流れる超重要ルールがわかる	古川裕	アルク	9784757413764
3	聴く中国語		日中通信社	

毎回読む文献は授業中に配付します。

前提学力等

原則として中国語 A、 B、 A、 Bを履修していること。

履修資格

講義名	アジア文献講読 C					担当教員	横田 祥子
講義コード	1400067	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230EXC206						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	中国語基礎力の確認
第2回	中国語テキストの読解1ー日常生活についてー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第3回	中国語テキストの読解2ー日常生活についてー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第4回	中国語テキストの読解3ー食文化ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第5回	中国語テキストの読解4ー食文化ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第6回	中国映画から表現を学ぶ1	中国映画の名作を鑑賞しながら、日本語にはない表現の仕方を学ぶ。
第7回	中国映画から表現を学ぶ2	中国映画の名作を鑑賞しながら、日本語にはない表現の仕方を学ぶ。
第8回	中国語テキストの読解5ー社会問題ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第9回	中国語テキストの読解6ー社会問題ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第10回	中国語テキストの読解7ー若者事情ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第11回	中国語テキストの読解8ー若者事情ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第12回	中国映画から表現を学ぶ3	中国映画の名作を鑑賞しながら、中国文化を色濃く表す表現の仕方を学ぶ。また、映画を通じて中国事情について学ぶ。
第13回	中国映画から表現を学ぶ4	中国映画の名作を鑑賞しながら、中国文化を色濃く表す表現の仕方を学ぶ。また、映画を通じて中国事情について学ぶ。
第14回	中国語テキストの読解9ー歴史ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第15回	中国語テキストの読解10ー歴史ー	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第16回	中国語新聞記事の読解1	中国語の新聞記事を読み、新聞表現と中国事情を学ぶ。
第17回	中国語新聞記事の読解2	中国語の新聞記事を読み、新聞表現と中国事情を学ぶ。
第18回	中国語新聞記事の読解3ー日本に関する報道ー	日本についての中国語新聞記事を読む。
第19回	中国語新聞記事の読解4ー日本に関する報道ー	日本についての中国語新聞記事を読む。
第20回	中国語テレビ番組から学ぶ1ー宗教ー	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、宗教事情について学ぶ。
第21回	中国語テレビ番組から学ぶ2ー宗教ー	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、宗教事情について学ぶ。
第22回	中国語雑誌記事の読解1ー宗教ー	宗教事情についての中国語新聞記事を読む。
第23回	中国語雑誌記事の読解2ー宗教ー	宗教事情についての中国語新聞記事を読む。
第24回	中国語雑誌記事の読解3ー民族ー	民族事情についての中国語新聞記事を読む。
第25回	中国語テレビ番組から学ぶ3ー民族ー	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、民族事情について学ぶ。
第26回	中国語テレビ番組から学ぶ4ー民族ー	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、民族事情について学ぶ。
第27回	中国語論文の読解1	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第28回	中国語論文の読解2	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第29回	中国語論文の読解3	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第30回	中国語論文の読解4	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。

担当者から一言
日本人にとって中国語の読解は、基本的文法をおさえていれば、それほど難しくありません。一年後には、たいいていの文章が読めるようになります。ぜひ本授業を活用して下さい。

講義名	インド・チベット地域文化論					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400090	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。

到達目標

- (1) 仏教の基本的な概念と考え方についての知識。
- (2) 仏教の歴史的な展開に関する知識。
- (3) 内陸アジアにおいて、仏教が果たしてきた役割に関する知識。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	講義内容について十分な理解を得ているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	英書講読（地域文化）					担当教員	市川 秀之 / 北村 由美 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 中井 治郎
講義コード	1400105	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG102						

授業概要

地域文化学科の教員が専門とする分野に関する英書の講読を行うことを通じて、各分野の文献の読解力を高める。毎回、受講生を指名し、テキストの内容について発表してもらうため、必ず予習をしてくること。

到達目標

(1)地域文化学科の専門分野について、平易な英語文献を読解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	前期試験（1回）35%、後期試験（1回）35%の合計で評価する。
レポート課題		
上記以外	30	授業中の発表による。

授業外学習

前期・後期1度の試験。また毎回の講義内で発表してもらうため、事前の予習を宿題として課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは各教員より配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英書講読（地域文化）					担当教員	市川 秀之 / 北村 由美 / 武田 俊輔 / 塚本 礼仁 / 中井 治郎
講義コード	1400105	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG102						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	文化人類学に関する英書講読 1	特にアジア地域研究
第2回	文化人類学に関する英書講読 2	特にアジア地域研究
第3回	文化人類学に関する英書講読 3	特にアジア地域研究
第4回	文化人類学に関する英書講読 4	特にアジア地域研究
第5回	文化人類学に関する英書講読 5	特にアジア地域研究
第6回	文化人類学に関する英書講読 6	特にアジア地域研究
第7回	文化人類学に関する英書講読 7	特にアジア地域研究
第8回	文化人類学に関する英書講読 8	特にアジア地域研究
第9回	文化人類学に関する英書講読 9	特にアジア地域研究
第10回	文化人類学に関する英書講読10	特にアジア地域研究
第11回	文化人類学に関する英書講読11	特にアジア地域研究
第12回	文化人類学に関する英書講読12	特にアジア地域研究
第13回	文化人類学に関する英書講読13	特にアジア地域研究
第14回	文化人類学に関する英書講読14	特にアジア地域研究
第15回	文化人類学に関する英書講読15	特にアジア地域研究
第16回	観光研究に関する英書講読 1	文化遺産・観光研究に関する英書を講読する。
第17回	観光研究に関する英書講読 2	文化遺産・観光研究に関する英書を講読する。
第18回	観光研究に関する英書講読 3	文化遺産・観光研究に関する英書を講読する。
第19回	観光研究に関する英書講読 4	文化遺産・観光研究に関する英書を講読する。
第20回	民俗学に関する英書講読 1	民俗学に関する英書を講読する。
第21回	民俗学に関する英書講読 2	民俗学に関する英書を講読する。
第22回	民俗学に関する英書講読 3	民俗学に関する英書を講読する。
第23回	民俗学に関する英書講読 4	民俗学に関する英書を講読する。
第24回	社会学に関する英書講読 1	文化社会学に関する英書を講読する。
第25回	社会学に関する英書講読 2	文化社会学に関する英書を講読する。
第26回	社会学に関する英書講読 3	文化社会学に関する英書を講読する。
第27回	社会学に関する英書講読 4	文化社会学に関する英書を講読する。
第28回	地理学に関する英書講読 1	
第29回	地理学に関する英書講読 2	
第30回	地理学に関する英書講読 3	
担当者から一言		

講義名	環琵琶湖文化論実習（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1400360	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG101-C						

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習である。地域、テーマ別に班を編成し、事前学習、宿泊をとまなう現地での実習、さらに報告書の作成を行う。

到達目標

フィールドワークを行うことによって、以下の目標を達成する。

- (1)地域の歴史、文化、生活への関心を深めることができる。
- (2)地域を調査するための手法を身につけることができる。
- (3)報告書のまとめ方を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)地域の歴史、文化、生活への関心を深めることができる(35%)、 (2)地域を調査するための手法を身につけることができる(35%)、 (3)報告書のまとめ方を身につけることができる(30%)については、環琵琶湖文化論実習の報告書原稿(100%)で評価す

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学的滋賀ガイド	滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編	昭和堂	978-4-8122-1141-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各班担当者の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1400360	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG101-C						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	各班の実習内容を紹介し、班分けを行う。
第2回	班別学習 その1	各班に分かれて、学習を行う。内容・スケジュールは、各班の担当教員より説明する。
第3回	班別学習 その2	
第4回	班別学習 その3	
第5回	班別学習 その4	
第6回	班別学習 その5	
第7回	班別学習 その6	
第8回	班別学習 その7	
第9回	班別学習 その8	
第10回	班別学習 その9	
第11回	班別学習 その10	
第12回	班別学習 その11	
第13回	班別学習 その12	
第14回	班別学習 その13	
第15回	班別学習 その14	
第16回	班別学習 その15	
第17回	班別学習 その16	
第18回	班別学習 その17	
第19回	班別学習 その18	
第20回	班別学習 その19	
第21回	班別学習 その20	
第22回	班別学習 その21	
第23回	班別学習 その22	
第24回	班別学習 その23	
第25回	班別学習 その24	
第26回	班別学習 その25	
第27回	班別学習 その26	
第28回	班別学習 その27	
第29回	班別学習 その28	
第30回	報告書の完成	班別学習の成果を報告書にまとめて完成させる。
担当者から一言		

講義名	漢文講読					担当教員	田中 俊明
講義コード	1400370	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG103						

授業概要

漢文史料の読解を進める。とりあえず、『資治通鑑』という歴史書をテキストにして、その訓読・現代語訳・註解を事前に準備して、授業のときに、指名をうけて、その内容を発表する。テキストには、句読点と固有名詞の傍線があり、わかりやすい(返り点などはない)。

到達目標

中国・朝鮮・日本における前近代の史料は、漢文史料がかなりの割合を占める。そうした漢文史料の、基礎的な読解方法に関する知識を身につけることをめざす。やさしい文章であれば、自分で読むことができるようになることをめざす。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	上記、小テストとするもの。2回実施する。レポート課題に対応する。
上記以外	60	日々の講読の準備・読解態度・そのでき、など。講読なので、毎回出て、指名されて答えることが必要。その応対も含める。

欠席が多くても、評価される場合もあるが、難しいと思う。まずは出席し、こちらが指摘したことを理解し、身につけ、自らの訓読・現代語訳・註解作業に活かす必要がある。

授業外学習

上記のように、自ら訓読・現代語訳・註解を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、上記のとおり、コピー配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校の漢文レベルは知っておく、身につけておく必要がある。

履修資格

講義名	漢文講読					担当教員	田中 俊明
講義コード	1400370	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG103						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	テキストの配布と解説	とりあえず、上記の史料を配布するが、希望があれば、別の史料でも可である。その場合、受講生と相談して、テキストを選定する。
第2回	進め方の説明	受講生が選択したテキストの場合は、ここで配布して、そのテキストの内容・成立についての解説、および今後の進め方を説明する。でなければ、講読を進める。
第3回	講読 1（こちらで選定した史料でよければ、番号がずれる）	以下、実際に講読を進める
第4回	講読 2	同上
第5回	講読 3	同上
第6回	講読 4	同上
第7回	講読 5	同上
第8回	講読 6	同上
第9回	講読 7	同上
第10回	講読 8	同上
第11回	講読 9	同上
第12回	講読 1 0	同上
第13回	講読 1 1	同上
第14回	講読 1 2	同上
第15回	講読 1 3 ・小テスト	同上
第16回	講読 1 4	同上
第17回	講読 1 5	同上
第18回	講読 1 6	同上
第19回	講読 1 7	同上
第20回	講読 1 8	同上
第21回	講読 1 9	同上
第22回	講読 2 0	同上
第23回	講読 2 1	同上
第24回	講読 2 2	同上
第25回	講読 2 3	同上
第26回	講読 2 4	同上
第27回	講読 2 5	同上
第28回	講読 2 6	同上
第29回	講読 2 7	同上
第30回	講読 2 8 ・小テスト	同上
担当者から一言		

講義名	基層文化論					担当教員	中井 均
講義コード	1400390	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130HER106						

授業概要

日本という国を形成する基層文化は縄文時代・弥生時代・古墳時代・飛鳥～奈良時代に求めることができる。その発展過程の中で、自然採集を基盤とした縄文時代から農耕社会となった弥生時代を経て、統一国家が出現する古墳時代、中国を範とした律令国家としての飛鳥～奈良時代にかけて、その変遷の画期をとらえながら、日本の国家形成の様子を考古学の資料を中心に、社会構造や文化について学ぶ。なお、室町時代に成立する住宅様式や、土器・陶磁器の文化史についても最後に触れておきたい。

到達目標

- (1)各時代の社会構造や文化を学び、日本の基層文化がどのように形成されたかが理解できる
(2)日本の古代～中世社会の時代の流れが理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	試験は記述式とし、その評価基準は問いに対して授業で学んだ歴史用語や語句を用いて的確に表現されているかで判断する
レポート課題	20	レポートは手書きとし、必ず自分の感想を述べること
上記以外	20	出席点

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	近世近江論					担当教員	東 幸代
講義コード	1400560	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HIS201-C						

授業概要

本講義では、近世（江戸時代）の近江国（現滋賀県）の歴史的展開と、それがどのような歴史的特徴を有していたかを、土地や琵琶湖の支配や利用のあり方を素材に論じる。また、近世社会の一般的な仕組みや他地域の様相など、近世近江とその社会を理解する際に前提となることがらについても適宜言及していく。

到達目標

日本の近世社会および近世近江の特徴を説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	日本近世社会や近江国の特徴について理解ができているか。 読み手に理解可能な説明ができているか。
レポート課題	20	講義の概要が理解できているか。 正しい日本語を使用しているか。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	芸術学					担当教員	亀井 若菜
講義コード	1400600	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130HIS103						

授業概要

この授業では、造形芸術である「美術」や、造形芸術の歴史の体系である「美術史」について考える。「日本美術史」という体系は、明治時代に日本のナショナルアイデンティティを見せるものとして作られた。その中では、その目的に沿う形で様々な作品が評価され、語られてきた。本講義ではそれを見直すべく、具体的な例として、正倉院宝物と二つの絵巻作品を取り上げ、その言説のあり方を考え、作品の新たな分析・解釈の仕方を提示する。さらに、従来の「日本美術史」とは異なる文脈で発信されているアートのいくつかを紹介する。授業で取り上げる二つの絵巻は、滋賀県の桑実寺に所蔵される「桑実寺縁起絵巻」と、その比較作品となる「酒伝童子絵巻」である。「桑実寺縁起絵巻」は、近江の桑実寺に逃げてきていた將軍足利義晴によって1532年に作られた。その中には近江の安土山付近の景色がリアルに描かれている。中世美術の中でも特筆すべき表現が展開するこの絵巻の絵を丁寧にしながら、実景の写真と絵を比較し、その意味を読み解いていく。滋賀県の美術品を知るといっても意味のある授業としたい。

授業では、プロジェクターで作品の全体および細部を毎回映し、作品の表現を詳しく見ながら、その意味を考えていく。

到達目標

- (1) 正倉院宝物や二つの絵巻の内容を理解し、自分でその意味について考えられるようになる。
- (2) 美術作品に関心を持ち、美術に表現されたものの意味を自分自身で考えられるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(2)についてレポート課題を出す。
上記以外	50	到達目標(1)について、到達確認テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	表象としての美術、言説としての美術史	亀井若菜	ブリュッケ	4-434-03644-0
2	交差する視線－美術とジェンダー 2	鈴木杜幾子, 馬淵明子, 池田忍, 金恵信 編	ブリュッケ	4-434-07049-5
3				

前提学力等

履修資格

講義名	現代社会論（人間文化）					担当教員	丸山 真央
講義コード	1400680	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230SOC202, 235SOC301, 237MUS207						

授業概要

本講義では、現代社会の諸相を理解する視座と方法を、「都市」という空間／社会を切り口に学んでいく。社会学のアプローチを中心に論じるため、社会学の基礎的な考え方から専門知識までを身につけることになる。授業では、ディスカッションやディベートなどをできる限り多くとりいれて、受講者が主体的に考える機会をつくりたい。

到達目標

（１）現代社会を理解するための基礎的な視角と方法を理解できる。（２）身近な社会現象を、現代社会論の諸理論を参照しながら説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	30	到達目標の（１）と（２）に関するレポートを課す。
上記以外	70	到達目標の（１）と（２）に関する小課題を授業内で課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	現代中国論					担当教員	横田 祥子
講義コード	1400690	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130EXC102						

授業概要

本授業では現代東アジア世界の中国、台湾、香港を中心に、その政治と社会の歴史的特徴と相互依存関係を解明し、さらに国際環境の東アジアにおける特徴を分析して、政治体制からみた新たな東アジア世界像を検討する。中国、香港、台湾の全体像を把握するために、政治体制や経済政策の変化に関するトピックを取り上げる。

到達目標

- (1) 政治体制の転換の背景と要因を理解する。
(2) 中国・台湾・香港の政治体制の相違を理解し、三者の政治的・歴史的関係を理解する。
(3) 中国で起きている社会問題について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 政治体制の転換の背景と要因を理解し、説明できる。(20%) (2) 中国・台湾・香港の政治体制の相違を理解し、三者の政治的・歴史的関係を把握できる。(20%) (3) 今後の日中関係について、自分の展望を述べることができる。(10%)
レポート課題	40	中国現代史・中国の現代の社会情勢に関し、自らが関心あるトピックについて情報を収集し、まとめることができる。
上記以外	10	授業の内容を理解し、発展的な質問ができる。

授業外学習

大学図書館には、中国の歴史や地理、各地の文化描いた映像資料や、歴史の激動を背景にした映画が多数ありますので、ぜひ鑑賞してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ハンドブック 現代中国第四版	愛知大学現代中国学部	あるむ	9784863330634
2	現代中国を知るための60章	高井潔司, 遊川和郎	明石書店	4750317721
3	台湾：人間・歴史・心性	戴國輝	岩波書店	400430041X

前提学力等

履修資格

講義名	考古学					担当教員	中井 均
講義コード	1400740	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130HER101						

授業概要

考古学とは、過去の人類が残した物質的資料としての「遺跡」と「遺物」という土の中から発掘されたモノを対象として歴史を組み立てていく学問である。考古学の独自性は遺構、遺物を実測し、分類することによって人類の残したモノを分析することにある。まずその方法論とこれまでの研究史を学び、さらには考古学に必要な関連諸科学を学ぶことによって考古学の基礎を培うこととする。そして具体的に考古学から明らかとなった日本列島の旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、歴史時代を概観する。また考古学は歴史を解明するための方法論であり、決して特定の時代を対象とするものではない。そこで考古学が明らかにした中・近世の遺跡や遺物についても検証する

到達目標

- (1)考古学が歴史研究の方法論であることを理解し、物質的資料の分類、整理ができる
- (2)考古学によって明らかにされた歴史の変遷を理解することができる
- (3)モノを測ることによって資料化することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	試験は記述式とする。その評価基準は授業で学んだ歴史的用語や語句を用いて的確に答えられているかで判断する
レポート課題	20	レポートは手書きとし、必ず自分の感想を述べること
上記以外	20	出席点

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古学実習					担当教員	定森 秀夫 / 中井 均
講義コード	1400741	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HER203						

授業概要

考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物は、その発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当っては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。

到達目標

考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料
上記以外	30	実習態度等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『発掘調査のてびき』	文化庁文化財部記念物課監修・奈良文化財研究所	同成社	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古学実習					担当教員	定森 秀夫 / 中井 均
講義コード	1400742	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	230HER204						

授業概要

考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物はその発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当っては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。

到達目標

考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料
上記以外	30	実習態度等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『発掘調査のてびき』	文化庁文化財部記念物課監修・奈良文化財研究所	同成社	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古学特論					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1400750	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

考古学は歴史学の一分野であるが、研究対象・研究方法において文献史学などとは異なる。本授業は、遺跡・遺構・遺物を研究対象とする考古学の方法論などの概要、および日本考古学の概要を理解することを目的とする。まず最初に、考古学の基本、考古学の方法論などの概要を講義する。そして、日本考古学の歩みとこれまでの成果を概説する。現在、日本考古学は旧石器時代から現代までを研究対象としており、発掘調査の進展によって、時代ごとに大きな成果をあげつつある。時代ごとに、考古学の成果と問題点を概説していくが、場合によっては主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して理解を深める。

到達目標

1．考古学の方法論の基本を理解する 2．日本考古学史と旧石器時代から現代までの日本考古学の内容を理解する 3．周辺諸国の考古学の成果と比較検討して、アジアの中の日本文化を理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古学特論 A					担当教員	中井 均
講義コード	1400751	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	330HER301						

授業概要

考古学は、過去人類が残した物質的資料としての「遺跡」と「遺物」というモノから歴史を分析する学問である。通常、考古学というと旧石器時代、縄文時代、弥生時代といった文字のない原始時代の歴史を分析するものと思われがちであるが、実は考古学は時代を超えた人類の歴史全体を研究する方法論である。この特論では、日本考古学のなかで近年めざましい研究成果のある中世から近世の考古学について、都市、集落、寺院、城館、墓などの遺跡と、そこから出土する様々な遺物について、流通も踏まえて分析をおこなうものである。また、近代以降を対象とした考古学についても触れておきたい

到達目標

- (1) 考古学の方法論について説明することができる
- (2) 古代、中世、近世の社会構造を考古学から説明することができる
- (3) 古代、中世、近世の特徴を読み解き、それに対する自らの考えを述べるることができる
- (4) 代表的な城跡を見学し、その特徴について批評することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	試験は記述式とする。評価基準は授業で学んだ歴史用語や語句を用いて、問いに対して的確に答えられているかで判断する
レポート課題	20	レポートは手書きとする。必ず感想を述べること
上記以外	20	出席点

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古学特論 B					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1400752	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	330HER302						

授業概要

考古学は歴史学の一分野であるが、研究対象・研究方法において文献史学などとは異なる。本授業は、遺跡・遺構・遺物を研究対象とする考古学の方法論などの概要、および日本考古学の概要を理解することを目的とする。まず最初に、考古学の基本、考古学の方法論などの概要を講義する。そして、日本考古学の歩みとこれまでの成果を概説する。現在、日本考古学は旧石器時代から現代までを研究対象としており、発掘調査の進展によって、時代ごとに大きな成果をあげつつある。時代ごとに、考古学の成果と問題点を概説していくが、場合によっては主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して理解を深める。

到達目標

1．考古学の方法論の基本を理解する 2．日本考古学史と旧石器時代から現代までの日本考古学の内容を理解する 3．周辺諸国の考古学の成果と比較検討して、アジアの中の日本文化を理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古地理実習					担当教員	中井 均 / 石川 慎治 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 塚本 礼仁 / 濱崎 一志
講義コード	1400760	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

地域文化学科で学び研究することになる専門分野に関して、基礎的な知識や研究の手法を学ぶ。学生は二つのグループに分かれ、授業ごとに学科教員全員の指導を受けることになる。

到達目標

(1)専門分野に関する基礎的な知識や研究の手法を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	専門分野に関する基礎的な知識や研究の手法を身につけることができるについては、第2回～第15回の毎回の小レポートで評価する(100%)。100点満点で60点以上を合格とする。
上記以外		

授業外学習

第2回より、毎回各分野のテーマに沿った小レポートを提出してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学的滋養ガイド	滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編	昭和堂	978-4-8122-1141-0
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古地理実習 A					担当教員	定森 秀夫 / 中井 均
講義コード	1400770	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業概要

考古学における実践的技術習得のための実習である。考古学の研究や学習には、基礎的技術の習得が欠かせない。地下から出土する遺構や遺物はその発掘記録を確実に作成するのが第一段階である。第二段階としては洗浄・修復で、その後、図化等（拓本・実測・写真・製図を含む）の第三段階を経て、初めて客観的資料となる。これら資料を用いて歴史を研究するのが考古学である。将来、考古学的方法を用いて研究・学習を進めるための実践的な技術力を習得する。したがって、小人数で実習を行うため、受講に当たっては、将来これらの技術を必要とするものが受講されたい。

到達目標

考古学の基本的な技術を理解し、身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	実習成果物としての実測図や拓本等提出資料
上記以外	30	実習態度等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『発掘調査のてびき』	文化庁文化財部記念物課監修・奈良文化財研究所	同成社	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	考古地理実習 A					担当教員	定森 秀夫 / 中井 均
講義コード	1400770	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	発掘調査技術と報告書作成	発掘調査技術と報告書作成に関する概説
第2回	水準点測量1	レベルを使用して標高を移動する方法を体徳する。
第3回	水準点測量	レベルを使用して標高を移動する方法を体徳する。
第4回	グリッド設定	トランシットを使用してグリッド設定の方法を体徳する。
第5回	地形・遺構の測量(平板測量)1	平板測量
第6回	地形・遺構の測量(平板測量)2	平板測量
第7回	地形・遺構の測量(平板測量)3	平板測量
第8回	地形・遺構の測量(平板測量)4	平板測量
第9回	地形・遺構の測量(平板測量)5	平板測量
第10回	写真撮影(写真撮影の基本)1	写真撮影
第11回	写真撮影(写真撮影の基本)2	写真撮影
第12回	写真撮影(写真撮影の基本)3	写真撮影
第13回	報告書作成の実際(報告書の構成と原稿作成)1	報告書作成の実際
第14回	報告書作成の実際(挿図レイアウト)2	報告書作成の実際
第15回	報告書作成の実際(図版レイアウト)3	報告書作成の実際
第16回	考古学実習の目的・必要性	実測・拓本等の意義
第17回	土器の実測と観察	土器の実測と観察
第18回	土器の実測と観察	土器の実測と観察
第19回	遺構の実測	遺構の実測
第20回	遺構の実測	遺構の実測
第21回	遺構の実測	遺構の実測
第22回	遺構の実測	遺構の実測
第23回	瓦・土器の拓本と観察	瓦・土器の拓本と観
第24回	瓦・土器の拓本と観察	瓦・土器の拓本と観
第25回	瓦・石器の実測と観察	瓦・石器の実測と観察
第26回	瓦・石器の実測と観察	瓦・石器の実測と観察
第27回	瓦・石器の実測と観察	瓦・石器の実測と観察
第28回	製図・レイアウト	製図・レイアウト
第29回	製図・レイアウト	製図・レイアウト
第30回	講評、その他	講評
担当者から一言		

講義名	考古地理実習 B					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1400780	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業概要

地理学研究は、(1)主題図の作成と(2)統計データの解析を組み合わせに進められることが多く、これらの正確さ・緻密さが研究内容そのものを左右する。本実習では(1)主題図作成の基礎的技能を身につけ、最後に地域分析プレゼンテーションという形にまとめる。

到達目標

- (1) ドローイングソフトウェアを操作し、地理的データを地図化することができる。
- (2) GISソフトウェアを操作し、地理的データを地図化することができる。
- (3) 多変量解析を用いて定量的な地域分析を行うことができる。
- (4) 論理的なプレゼンテーションを行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終報告による。採点基準の詳細は授業にて通知する。
上記以外	50	実習成果物による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MANDARAとEXCELによる市民のためのGIS講座 第3版	後藤真太郎ほか	古今書院	978-4-7722-4162-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地図表現ガイドブック	浮田典良・森 三紀	ナカニシヤ出版	978-4-88848-847-9
2	新版 地域分析：データ入手・解析・評価	村山祐司・駒木伸比古	古今書院	978-4-7722-5272-0
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	考古地理実習 B					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1400780	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	前期ガイダンス	
第2回	ドローイングによる主題図作成 1	ソフトウェアの機能と操作
第3回	ドローイングによる主題図作成 2	点・面表現
第4回	ドローイングによる主題図作成 3	線表現
第5回	ドローイングによる主題図作成 4	街区図 1（現地調査 / 彦根市内の商店街）
第6回	ドローイングによる主題図作成	街区図 2（作成）
第7回	GISによる主題図作成 1	ソフトウェアの機能と操作
第8回	GISによる主題図作成 2	階級区分図
第9回	GISによる主題図作成 3	分布（立地）図
第10回	GISによる主題図作成 4	土地利用図
第11回	GISによる主題図作成 5	防災地図
第12回	地域分析プレゼンテーション 1	企画
第13回	地域分析プレゼンテーション 2	作成 1
第14回	地域分析プレゼンテーション 3	作成 2
第15回	地域分析プレゼンテーション 4	報告会
第16回	後期ガイダンス	
第17回	多変量解析 1	多変量解析概論、ソフトウェアの機能と操作
第18回	多変量解析 2	回帰分析
第19回	多変量解析 3	主成分分析
第20回	多変量解析 4	因子分析
第21回	多変量解析 5	クラスター分析
第22回	質的データの解析 1	数量化理論
第23回	質的データの解析 2	数量化理論
第24回	質的データの解析 3	数量化理論
第25回	多変量解析とGISの結合	主題図作成
第26回	多変量解析とGISの結合	主題図作成
第27回	地域分析プレゼンテーション 1	企画
第28回	地域分析プレゼンテーション 2	作成 1
第29回	地域分析プレゼンテーション 3	作成 2
第30回	地域分析プレゼンテーション 4	報告会
担当者から一言		

講義名	古文書演習					担当教員	水野 章二
講義コード	1400890	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HIS203						

授業概要

歴史研究の素材となる史料には、古文書・古記録・木簡・金石文あるいは絵画史料など、多種多様なものがあるが、特に古文書はその中心的位置を占める。史料全体に対する関心と理解を深めるとともに、主として古代・中世の古文書を取りあげ、研究の基礎となる文書読解力を養う。そして文書の様式・形態・機能などの基本を学習し、あわせて文書の作成された時代・社会の特質を考える。なお授業では、古文書の写真コピーを使用する。

到達目標

- (1) 古代・中世の古文書の種類・機能やその変化を理解できる。
- (2) 古代・中世の文字・文体を読解・解釈できる。
- (3) 古代・中世の文書の作成システムや社会構造を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	毎回の授業における読解・発表により評価する。 (1) 古代・中世の古文書の種類・機能やその変化を理解できる。 30% (2) 古代・中世の文字・文体を読解・解釈できる。 40%

授業外学習

博物館・史料館などで実際の文書を見学する機会を設ける。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	古文書学入門	佐藤進一	法政大学出版局	4-588-32001-7
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	古文書演習					担当教員	東 幸代
講義コード	1400900	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	230HIS204						

授業概要

本演習のねらいは、近世・近代の古文書の解読を通して、くずし字解読の基礎能力を身に付けることにある。あわせて、文献史料読解能力の向上と、近世・近代社会に対する理解の深化を目指す。

到達目標

漢字の部首のくずし方をマスターする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	漢字のくずし字が読解できているか。
レポート課題		
上記以外	20	毎回の予習課題を完了しているか。 小テストの結果。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

予習を必須とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	くずし字用例辞典	児玉幸多	東京堂出版	
2				
3				

前提学力等

日本史料講読を履修済みであること。

履修資格

講義名	自然地理学					担当教員	渡邊 三津子
講義コード	1400970	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号	330S0C306						

授業概要

私たちを取り巻く自然環境は、大気や水の循環、地殻変動、生態系と、さまざまな人間活動が相互に影響しながらなっています。本講では、地形、気候・気象、水文など「自然のしくみ」を理解するための基礎的な内容を網羅的に解説します。併せて、実際に地形図や衛星データ、各種主題図の判読や作図作業をおこない、自然地理学的な考え方や地域の調べ方を学びます。
また、カリキュラムの最後には、それまで学んだ自然地理学の基本的な考え方をもとに、身近な自然環境を考えます。

到達目標

- (1) 世界や日本の地形や気候の特徴や地域性について、説明できるようになる。
- (2) 身近な自然環境の成り立ちについて、その形成過程や人間活動とのかかわりから説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	レポート課題
上記以外	30%	授業中に実施する作業や小課題

授業外学習

ノート整理や、配布プリントや授業中に紹介する文献を読むなどして、授業内容を復習しておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地球学入門：惑星地球と大気・海洋のシステム	酒井治孝	東海大学出版部	4486016157
2				
3				

参考書は、授業中に適宜紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	質的データ解析論					担当教員	武田 俊輔
講義コード	1400980	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230SOC205,235SOC205						

授業概要

社会調査法のうち、「量的調査法」に対して「質的調査法」として総称されるデータの収集方法と分析方法について、それぞれの方法に基づく優れた既存研究や、担当者個人の研究を例に挙げて、どのような方法がどのように研究に生かされているかを明らかにする。と共に、実際にそれぞれの調査・分析方法に関してレポート課題を与え、成果を提出してもらう。データの収集・分析方法の単なるマニュアルでなく、調査に至るまでの準備や、調査を通じて適切な問いを立ち上げるプロセスに踏み込み、質的調査の方法を習得することを目的とする。

到達目標

- (1) 先行研究や必要な統計データを収集する手段を使用できる。
- (2) 特定のテーマのインタビューにあたり、適切な調査依頼と質問項目の策定ができる。
- (3) 質問項目に基づきつつ、適切に質問項目を追加・削除してインタビューを実施できる。
- (4) 参与観察の基本的な考え方を習得できる。
- (5) 行ったインタビュー内容を、論文・報告書の作成に使えるように整理することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	以下の5回のレポートを課す。 1) 先行研究や関連資料、統計データを収集することができる(20%)。 2) インタビュー調査を適切に依頼し、また事前に適切な質問項目を設定することができる(20%)
上記以外		毎回提出してもらったレスポンスカードの内容が優れていた場合、加点を行うことがある。1回につき2点、ただし15回の授業を通して、5回以内(10点以内)とする。

レポートの提出回数が3回以下の場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自分で調べる技術 市民のための調査入門	宮内泰介	岩波書店	4007001170
2	フィールドワークの技法 問いを育てる、仮説をきたえる	佐藤郁哉	新曜社	4788507889
3	よくわかる質的社会調査 プロセス編	谷富夫・山本努	ミネルヴァ書房	4623058441

授業中にレジュメやレポート執筆に必要な資料を配付する。

前提学力等

社会調査士資格認定科目(F科目)。資格取得にはE科目の応用データ解析論と本科目のいずれかが1つを履修することであり、1回生配当の社会調査論を履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	社会学概論					担当教員	武田 俊輔 / 大橋 松行 / 中村 好孝 / 細馬 宏通 / 丸山 真央
講義コード	1401050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130SOC102, 135SOC201						

授業概要

本講義は、社会学の基本的な思考方法、基礎概念、研究方法について概説し、あわせて社会学の主要分野の入門的な講義を行うものである。

到達目標

- (1)社会学の基本的な思考方法を理解し、基礎概念を修得することで、社会現象を社会的に理解することができるようになる。
(2)社会学の主要分野の成り立ちと今日の争点を知ること、様々な社会現象への関心を深める一歩を獲得することができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)社会学の基本的な思考方法を理解し、基礎概念を修得することで、社会現象を社会的に理解することができるようになる(50%)、(2)社会学の主要分野の成り立ちと今日の争点を知ること、様々な社会現象への関心を深める一歩を獲得することができるようになる(50%)について、小レポート・中間レポート・最終レポート(合計100%)。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会学 第5版	アンソニー・ギデンズ	而立書房	4880593508
2	Do!ソシオロジー 改訂版 -- 現代日本を社会学で診る	友枝敏雄他編	有斐閣	4641124965
3	社会学入門	塩原良和・竹ノ下弘久編	弘文堂	4335551401

前提学力等

高校の倫理・政治経済、現代社会、世界史、日本史で修得している程度の知識は必要だが、とくに問わない。

履修資格

講義名	社会学史					担当教員	中村 好孝
講義コード	1401060	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230SOC203,335SOC308						

授業概要

これまでの社会学の歴史について、社会学誕生以前の社会思想、近代に生まれた社会学、現代展開中の社会学の三期に分けて、主要な理論の概要とそれらの展開について学ぶ。社会学の歴史を学ぶことがなぜ大切なのかといえは、本講義でとりあげる社会的な構え・方法態度は、今でも通用するからである。「社会学」の歴「史」の講義であるが、歴史について学ぶことと、一通りの社会的な発想について身につけることとを、同じくらいに重要な目標として設定する。

到達目標

(1)社会学の歴史について一通りの知識を得る。(2)個々の社会学の議論・理論について理解する。(3)自分が今生きている社会について、社会的に考えるための思考方法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標(1)について、穴埋め式あるいは選択式問題を行なう(10%)。到達目標(2)について、穴埋め式あるいは選択式問題を行なう(10%)。到達目標(3)について、論述式試験を行なう(50%)。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標(1)について、毎回小テストを行なう(15%)。到達目標(2)について、毎回小テストを行なう(15%)。

小テストを3分の1以上提出しなかった者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

通常はレジメを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会調査実習（地域文化、人間関係）					担当教員	武田 俊輔 / 藤原 信行
講義コード	1401120	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320						

授業概要

社会調査に必要とされる実践的能力の習得をめざして、受講生全員が個人であるいはグループで、質的調査の企画から報告書の作成まで、全過程をひととおり実習する。具体的には、調査方法のガイダンス、問題の設定、先行研究の精査、調査計画の策定、調査の実施、発表と討論、報告書の作成をおこなう。なおこの実習は社会調査士資格を取得する際に必要となる認定科目である。

到達目標

- (1) 先行研究、統計データ等を収集し精査することができる。
- (2) 調査計画を立案することができる。
- (3) 適切な調査方法を習得し、調査を実際におこなうことができる。
- (4) 調査成果を発表し、討論することができる。
- (5) 報告書を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	(1)先行研究、統計データ等を収集し精査することができる(10%)、(2)調査計画を立案することができる(10%)、(3)適切な調査方法を習得し、調査を実際におこなうことができる(10%)、(5)報告書を作成することができる(60%)については最終報告書の原稿で評価する。
上記以外	10	(4)調査成果を発表し、討論することができる(10%)については、毎回の授業内でのディスカッションへの参加で評価する。

授業外学習

夏季休暇中を中心に、授業時間外での自発的な調査活動に基づいて調査を行い、その進行状況および概要について何度も報告してもらうことになる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で紹介する。

前提学力等

社会調査論、社会調査方法論、社会統計学、統計学基礎、および量的データ解析論 もしくは質的データ解析論のいずれかの単位を修得していることが望ましい。

履修資格

講義名	社会調査実習（地域文化、人間関係）					担当教員	武田 俊輔 / 藤原 信行
講義コード	1401120	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	実習全体のガイダンスと共に、班分けを行う。
第2回	調査方法の解説（１）	社会調査の調査方法について解説する。
第3回	調査方法の解説（２）	社会調査の調査方法について解説する。
第4回	調査方法の解説（３）	社会調査の調査方法について解説する。
第5回	先行研究の収集と読解（１）	班ごとに先行研究を収集し、読解して報告する。
第6回	先行研究の収集と読解（２）	班ごとに先行研究を収集し、読解して報告する。
第7回	先行研究の収集と読解（３）	班ごとに先行研究を収集し、読解して報告する。
第8回	調査計画の策定と発表（１）	調査計画を策定し、各班ごとに報告する。
第9回	調査計画の策定と発表（２）	調査計画を策定し、各班ごとに報告する。
第10回	調査計画の策定と発表（３）	調査計画を策定し、各班ごとに報告する。
第11回	調査計画の策定と発表（４）	調査計画を策定し、各班ごとに報告する。
第12回	現地調査（１）	現地調査を行い、各班ごとにその内容を報告する。
第13回	現地調査（２）	現地調査を行い、各班ごとにその内容を報告する。
第14回	現地調査（３）	現地調査を行い、各班ごとにその内容を報告する。
第15回	現地調査（４）	現地調査を行い、各班ごとにその内容を報告する。
第16回	調査成果の発表と討論（１）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第17回	調査成果の発表と討論（２）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第18回	調査成果の発表と討論（３）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第19回	調査成果の発表と討論（４）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第20回	調査成果の発表と討論（５）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第21回	調査成果の発表と討論（６）	現地調査の成果について各班ごとに報告し、ディスカッションを行う。
第22回	追加調査（１）	ディスカッションを踏まえた追加調査とその結果について、各班ごとに報告する。
第23回	追加調査（２）	ディスカッションを踏まえた追加調査とその結果について、各班ごとに報告する。
第24回	追加調査（３）	ディスカッションを踏まえた追加調査とその結果について、各班ごとに報告する。
第25回	追加調査（４）	ディスカッションを踏まえた追加調査とその結果について、各班ごとに報告する。
第26回	報告書原稿の作成と討論（１）	報告書の原稿を各班ごとに作成し、報告とディスカッションを行う。
第27回	報告書原稿の作成と討論（２）	報告書の原稿を各班ごとに作成し、報告とディスカッションを行う。
第28回	報告書原稿の作成と討論（３）	報告書の原稿を各班ごとに作成し、報告とディスカッションを行う。
第29回	報告書原稿の作成と討論（４）	報告書の原稿を各班ごとに作成し、報告とディスカッションを行う。
第30回	報告書原稿の作成と討論（５）	報告書の原稿を各班ごとに作成し、報告とディスカッションを行う。
担当者から一言		

講義名	社会調査方法論					担当教員	大橋 松行
講義コード	1401130	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230SOC204, 233MKD281, 235SOC203						

授業概要

本講義では、社会調査（量的調査、質的調査）の方法について論じるが、その主たる目的は、量的調査の中で最も一般的で基本的な形態である調査票調査（質問紙調査）の方法について理解することにおく。具体的には、調査企画の設計、調査票の作成、標本抽出と調査の実施方法、データの集計・整理・分析等について概説する。

到達目標

- （１）調査目的・方法・手順および調査問題の選択と定式化について理解することができる。
（２）社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形まで整理していく具体的な方法が理解できる。
（３）質問紙の作成についての技術と能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標（３）については、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標（１）（２）については、5回程度授業中に小レポートを実施する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。ただし、正当な事由があると認められる場合は考慮するので、事前または事後にその旨申し出ること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書はその都度紹介する。授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	社会調査論					担当教員	大橋 松行
講義コード	1401140	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130SOC103,133LVD107,135SOC202						

授業概要

社会調査とは、社会事象を人間の社会的・生活連関における意味に即して調査することをいう。本講義では、現代社会において社会的現実を知る有力な手段である社会調査の概要、歴史、種類、問題点など、基本的事項を概説するとともに、その意義について考える。

到達目標

- (1) 社会調査の分類や倫理に関する基本的事項が理解できる。
- (2) 社会調査の歴史や海外調査に関する知識と理解力を身につけることができる。
- (3) 国勢調査の特徴と課題について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(3)については、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標(1)(2)については、5回程度授業中に小レポートを実施する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。ただし、正当な事由があると認められる場合は考慮するので、事前または事後にその旨申し出ること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書はその都度紹介する。授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	人文地理学 A					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1401500	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130SOC105						

授業概要

地理学は、地表面で見られる現象が起こる空間的・地域的メカニズムの解明を目指してきた。人文地理学とは、地域の人口、民族、社会・文化、産業、集落（都市・農村）など、人間活動に由来するテーマを分析し、上記の目標にアプローチしようとする分野である。本講義では、人文地理学の基礎理論を紹介し、できるだけ多くの具体例で検証を加えながら、地理的現象の発生および変容のしくみについて考えていきたい。

到達目標

- (1)世界・日本の地域問題について、地理学の理論を用いて考察することができる。
- (2)世界・日本の地域問題について、統計データから特徴を読み取ることができる。
- (3)世界・日本の地域問題について、地図から特徴を読み取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	出題方針と採点基準は授業にて通知する。
レポート課題		
上記以外	40	宿題を課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地理学基礎シリーズ1 地理学概論	上野和彦ほか	朝倉書店	978-4-254-16816-7
2				
3				

適宜プリントなどを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	人文地理学 B					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1401510	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230S0C211						

授業概要

食べ物なら近江米、近江牛、近江茶...、消費財なら信楽焼、彦根仏壇、近江上布...というように、滋賀県にもさまざまな特産物・特産品が見られる。ただし今日、食料の輸入依存度の上昇と国内第一次産業の弱体化、製造部門の海外移転にともなう国内「ものづくり」の空洞化など、全国各地の「地域産業」を取り巻く状況は大変厳しい。本講義では、こうした地域産業（の産地）の姿を詳細に、かつ多角的につかむことはもちろん、産業を持続させる（させてきた）地域システムについて考える機会も提供したい。

到達目標

- (1)日本の食料事情について、食料地理学の理論を用いて考察することができる。
- (2)日本のものづくりについて、経済地理学の理論を用いて考察することができる。
- (3)統計や地図から、地域産業の特徴を読み取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	出題方針、採点基準は授業にて通知する。
レポート課題		
上記以外	40	宿題を課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フードシステムの空間構造論	高柳長直	筑波書房	978-4-8119-0295-5
2	地場産業産地の革新	上野和彦	古今書院	978-4-7722-4105-2
3				

適宜プリントなどを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	西洋史概説					担当教員	北村 知之
講義コード	1401750	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	2300TH201						

授業概要

高校の世界史で学んだヨーロッパ史を踏まえながら、特に美術に焦点を当てて、古代ギリシアから20世紀初頭にいたるヨーロッパ世界の歴史的展開を概観し、その変遷と意義について解説する。
講義では視覚教材を多用して西洋美術の傑作の数々を紹介するので期待してもらいたい。

到達目標

西洋美術においてそれぞれの時代を代表する作品の歴史的意義を理解し、論じられるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		下記参照
レポート課題		下記参照
上記以外		下記参照

3日間の集中講義なので、初日と2日目に宿題としてレポートを課し、最終日に試験を行う。これらを総合的に評価して成績をつける。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校で学んだ世界史について、その大まかな輪郭を頭に入れておくことが望ましい。

履修資格

講義名	組織とネットワークの社会学					担当教員	藤岡 伸明
講義コード	1401790	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	330SOC302, 335SOC309						

授業概要

組織とネットワークは社会を構成するきわめて重要な要素である。たとえば、企業、学校、役所、コンビニなどのフランチャイズ・ネットワーク、インターネットで結びつくリアル/ヴァーチャルなコミュニティ等々を抜きに現代社会を語ることは不可能である。また、社会そのものの存在を実感することは困難でも、組織とネットワークであればその存在を具体的に可視的なものとして認識することはさほど難しくないと考えられる。したがって、組織とネットワークは、社会というつかみどころのない対象を捉えるための格好の切り口または出発点になりうる。このような問題意識のもとで近代以降の組織とネットワークの特徴を考察することによって、近現代社会の構造と変動を理解するとともに、現代社会の分析に役立つ社会学的知識・概念・センスを身につけることがこの授業の目的である。

授業では、官僚制化と脱官僚制化のダイナミズムを軸としながら、組織とネットワークの歴史の変遷を見ていく。概念と理論について説明するだけでなく、具体的な事例を紹介するための写真、映像、新聞記事などを積極的に活用しながら授業を進める。

到達目標

- (1) 近代以降の組織とネットワークに関する基礎的な知識を得る
- (2) 組織とネットワークの考察を通して、近現代社会の構造と変動に関する理解を深める
- (3) 組織とネットワークの考察を通して、現代社会の分析に役立つ社会学的知識・概念・センスを身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	最終レポート
上記以外	60	平常点（出席・授業への参加度）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは特に指定せず、配布資料をもとに講義を進める。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2007、『社会学』、有斐閣、第4章「組織とネットワーク」。

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1401830	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	430REG402						

授業概要

規定に従って、研究の成果を論文（作品）として提出する。

到達目標

(1)研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現・映像表現などによる卒業論文（作品）が作成できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現・映像表現などによる卒業論文（作品）が作成できるようになるについては、論文（作品）および口頭試問の内容により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（地域文化）					担当教員	学科教員／東 幸代／石川 慎治／ 市川 秀之／亀井 若菜／京樂 真帆子／ 定森 秀夫／武田 俊輔／田中 俊明／ 塚本 礼仁／中井 均／濱崎 一志／ 水野 章二／横田 祥子
講義コード	1401830	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	430REG402						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容、スケジュールについて説明する。
第2回	卒業研究 その1	
第3回	卒業研究 その2	
第4回	卒業研究 その3	
第5回	卒業研究 その4	
第6回	卒業研究 その5	
第7回	卒業研究 その6	
第8回	卒業研究 その7	
第9回	卒業研究 その8	
第10回	卒業研究 その9	
第11回	卒業研究 その10	
第12回	卒業研究 その11	
第13回	卒業研究 その12	
第14回	卒業研究 その13	
第15回	卒業研究 その14	
第16回	卒業研究 その15	
第17回	卒業研究 その16	
第18回	卒業研究 その17	
第19回	卒業研究 その18	
第20回	卒業研究 その19	
第21回	卒業研究 その20	
第22回	卒業研究 その21	
第23回	卒業研究 その22	
第24回	卒業研究 その23	
第25回	卒業研究 その24	
第26回	卒業研究 その25	
第27回	卒業研究 その26	
第28回	卒業研究 その27	
第29回	卒業研究 その28	
第30回	卒業論文（作品）の完成	卒業論文（作品）を完成させ、期限内に提出する。
担当者から一言		
1．担当教員の指導により、4年次前期の早い時期に卒業研究のテーマをかためて研究を進めること。 2．後期の早い時期に行う中間報告会で、卒業研究の進捗状況等を発表すること。		

講義名	対外文化交流論 A					担当教員	田中 俊明
講義コード	1401840	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230EXC210						

授業概要

日本と朝鮮半島の関係に関する知識を共有することを目的とする。今期は、百済との関係である。百済は、朝鮮三国の1つとして、朝鮮半島の中部西側におこり、西南部を領有するようになるが、その当初から倭との関係も深く、また百済からの渡来人が日本文化の形成にも大きな影響を与えた。その建国から滅亡に至るまでの過程と、倭国・日本との関わりを扱うことにしたい。

到達目標

百済の歴史、日本との関係について知識を得る。主体的に関わってもらい、古代の関係のありかたに関心をもつようになることもめざす。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	期末試験期間の試験
レポート課題	20	レポートを1回課す。テーマ、締切等は、最初の授業で伝える。
上記以外		

授業外学習

参考書は、適宜指示するので、みずから知識を高める努力をしてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校時代の、日本史・世界史教科書を見直し、百済および百済と日本との関係について記されていることを自分の知識としているかどうかを確認する。

履修資格

講義名	対外文化交流論 B					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1401850	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230EXC211						

授業概要

いかなる地域・国も完全孤立の状態では存続しえない。隣接地域・隣接国との交流、航空機のある現在にはるか遠方の地域・国との文化的・経済的・政治的・社会的交流関係の中で、各地域・国はその歴史を刻み込んできたのであり、このことは現在進行形でもある。付け加えるなら、個人レベルにおいてもそれは当てはまる。日本列島は海を隔てて中国大陸・朝鮮半島などから地理的に孤立しているように見えるが、その海こそが交流の橋渡し役であった。日本文化は、主に中国・朝鮮の文化を常に取り入れてきた。最近では欧米文化も取り入れ、多様な文化を融合しつつあるように見える。本授業では、主に考古資料を中心に据えて、日本の対外交流の歴史を旧石器時代から江戸時代まで通観するとともに、土器・陶磁器をテーマとして対外交流の具体例を掘り下げてみる。

到達目標

1．日本列島の地理的位置の再確認と海の再評価 2．日本文化は常に外来文化を吸収することによって発展してきたことを理解する 3．文化の多様性を認め、文化融合の過程を理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	対外文化交流論C					担当教員	Borjigin Burensain / 河 かおる
講義コード	1401860	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をめきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満州、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどについて、概要とともに、いくつかの地域を取り上げて具体的に学ぶ。

到達目標

- (1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。
- (2)授業で扱う具体的な地域への移民について、その特徴を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	【期末課題】プレゼンテーション、レポート
上記以外	60	講義で出される複数の課題

授業外学習

課題レポート

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	海を渡った日本人	岡部牧夫	山川出版社	978-4634545601
2				
3				

講義内容に関連する文献リストを授業で配付する

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	地域経済史論					担当教員	東 幸代
講義コード	1401900	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	330HIS302						

授業概要

日本近世における地域経済の史的展開をテーマとする講義である。近世の地域市場のみならず、全国市場においても重要な商品であった肥料を素材とし、近江国の地域経済のあり方を考える。また、前近代において重要な流通路であった琵琶湖の舟運の特徴について示す。

到達目標

日本近世の流通構造とその変遷を理解するとともに、その背景にある社会構造を理解する。あわせて、流通史における琵琶湖舟運の意義を理解することを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	日本近世の流通構造とその変遷について理解ができているか。 琵琶湖舟運の意義について理解ができているか。 読み手に理解可能な説明ができているか。
レポート課題	20	講義の概要が理解できているか。 正しい日本語を使用しているか。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	近世魚肥流通の地域的展開	古田悦造	古今書院	
2				
3				

講義中にプリントを配布する。

前提学力等

近世近江論を受講済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	地域研究論					担当教員	上田 洋平
講義コード	1401920	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130SOC104-C						

授業概要

「地域」という言葉はこの項目にし耳にし内日がないほどのキーワードであり、普段気軽に使われる言葉であるが、いざこれを相手にしようとする
と非常に厄介な概念である。片や個人の内面世界から片や地球あるいは宇宙空間にまで伸び縮みする「地域」について様々な角度から考える。
実際の身近な事例によりつつ、また時に簡単なワークショップを取り入れて、この時代における「地域」や「地域文化」の意味及びそのおかれて
いる状況を点検した上で、「地域」を問題にし、「地域」について考えること及びその成果を地域に還元することの意義とその方法を議論する。
このことを通じて、地域に学び地域と関わるために必要な基礎的な見識、地域というフレームを使って世界や人間、文化について考える仕方や
その成果、地域研究・地域学の成果をいかに活用し地域に還元するかについて理解し説明できるようになること。また、以上を踏まえ、いかに「
地域」を生きるかというそれぞれの実践に関する考えを持つことを求める。

到達目標

- (1) 地域という概念および地域研究・地域学に関わる基本的な概念・用語について理解し説明できる。
- (2) 地域に立脚して、また地域という枠組みを通して社会や文化、人間を見ることの意義について理解し説明できる。
- (3) フィールドワークをはじめとする地域研究・地域学の調査・研究手法の基礎について理解するとともに自身で活用できる。
- (4) 地域研究・地域学の成果の整理、表現、地域への還元についての基本的な考え方及びその方法について理解し自身で活用できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標における(1)及び(2)については定期試験により評価する。
レポート課題	40	到達目標における(3)及び(4)については毎回の授業後に課す小レポート(ワークショップ成果物含む)により評価する。
上記以外		

授業外学習

(宿題)授業中に実施するワークショップ、あるいはインタビューについて、その準備やまとめの作業で授業時間内に完成しなかったものは、宿題となる。(小試験)小試験はしない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域考古学 A					担当教員	中井 正幸
講義コード	1401930	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	230HER206						

授業概要

- この授業は講義形式で行う。
- 古墳時代を特徴づける古墳について、古墳出現期から終末期までを対象とし、美濃・尾張を中心とした東海西部の古墳時代の政治構造や地域性について学ぶ。
- 古墳調査の実際に触れながら、隣接分野の手法や効果についても学び、これからの調査視点について考える。
- 各地で進められている古墳整備について触れ、古墳の発掘調査がどのように整備に活かされているのかを学び、これからの遺跡整備について考える。
- 現代社会における文化遺産への関心とその高まりを踏まえ、地域における古墳が果たす役割について考え、考古学と地域社会が向き合う実例を学ぶ。

到達目標

- 第1回
過去の地形図や空中写真から、古墳の立地を理解する。
- 第2回
過去の調査記録から、必要な情報を読み取り、解釈する。
- 第3回
東海西部における弥生墳丘墓と古墳の違いを理解する。
- 第4・5回
古墳の調査を通じて、外部施設（葺石・埴輪列）、埋葬施設を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		第1回～第15回の講義のなかから3つ以上のテーマを選び、その要旨をまとめて自分の考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なものは講義中にプリント配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地域考古学 B					担当教員	濱 修
講義コード	1401940	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号	230HER207						

授業概要

滋賀県内の発掘調査の最新の成果に基づいて、滋賀県の縄文時代から近世までの新たな歴史認識を確認するとともに、個別の遺跡の調査成果について発掘現場等の写真を用いて具体的に述べる。次に、琵琶湖の周辺の遺跡の調査成果から、琵琶湖周辺に生活の糧を求めてきた先人の生業について説明する。また、滋賀県内の出土文字資料から墨書土器、木簡について解説する。土器に文字を記した墨書土器の内容、目的、文字からわかる遺跡の性格について解釈する。塩津港遺跡では起請文の祭祀が行われていたが、その内容について述べる。

到達目標

- (1) 発掘調査の成果から見た滋賀県の歴史を認識する
(2) 琵琶湖周辺の遺跡から湖上交通と物流を理解する

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標 (1) (2) について自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	古代地方木簡の世紀	(財) 滋賀県文化財保護協会	サンライズ出版	978-4-88324-375-3
2	琵琶湖水中考古学の世界	(財) 滋賀県文化財保護協会	サンライズ出版	978-4-88325-409-5
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域と空間					担当教員	市川 秀之
講義コード	1401980	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130HER102-C						

授業概要

地域社会を理解するうえで、空間的視点からのアプローチは非常に有効である。この授業では村落および年を対象として、地域社会と空間の関連について説明を進めたい。具体的にはムラとマチの見方・歩き方が授業の中心となる。民俗学的視点からの村落・都市空間論や生業空間の利用を中心に講義するが、条里制・街道・城下町など歴史地理学的なテーマについても取り上げることとする。

授業では多くの地図を配布し、それを利用して講義をすすめる。課題レポートではその地図を生かしたフィールドワークの成果の提出を求める。授業を通じて地図の利用に精通することも目的の一つである。

到達目標

- (1) 地域社会の空間的特質に関する基本的な概念および用語を理解する。
(2) 地形図や小字図を読みとく技法を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	・地域社会の空間的特質に関する基本的な概念および用語を理解できているか否かを評価(語句説明)。 ・地形図や小字図を読みとく技法を習得できているか否かを評価(地図読解)。
レポート課題	20	任意の場所について新旧の地図を利用して、その土地の空間的な特性が説明できるか否かを評価。
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードの内容を通じて、その授業の内容を理解できているか否かを評価。

レポートを提出していないものは評価対象とはしない。

授業外学習

宿題は特に課さないが、毎回授業のあとで提出するレスポンスカードの内容については評価対象とする。また次回に配布するレスポンスへの回答については熟読しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の民俗 5	市川秀之ほか	吉川弘文館	978-4-642-07873-3
2				
3				

授業ではレジュメを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1401990	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230REG201						

授業概要

3回生以後の卒業論文に関する指導を主な内容とする地域文化演習・地域文化演習への導入の授業である。このなかで、卒業論文のテーマをどうするのかなどの自覚を促し、3回生の時点でスムーズにゼミを選択し、個別的な指導を受けられるように方向づける。領域を日本文化史、日本地域史、地理学、中国の文化と社会、保存修景、考古・古代、社会学・文化研究、民俗学、日本美術史のゾーンに区分し、学生は前期と後期にそれぞれ一つずつ選択する。

到達目標

(1)研究課題を見いだし探求するために必要な専門知識・周辺知識を自ら進んで学習できるようになる(100%)。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	研究課題を見いだし探求するために必要な専門知識・周辺知識を自ら進んで学習できるようになる(100%)については、毎回のゼミでのディスカッションへの参加(50%)と、報告内容(50%)で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1401990	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	230REG201						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容、スケジュールについて説明する。
第2回	地域文化演習 その1	
第3回	地域文化演習 その2	
第4回	地域文化演習 その3	
第5回	地域文化演習 その4	
第6回	地域文化演習 その5	
第7回	地域文化演習 その6	
第8回	地域文化演習 その7	
第9回	地域文化演習 その8	
第10回	地域文化演習 その9	
第11回	地域文化演習 その10	
第12回	地域文化演習 その11	
第13回	地域文化演習 その12	
第14回	地域文化演習 その13	
第15回	地域文化演習 その14	
第16回	地域文化演習 その15	
第17回	地域文化演習 その16	
第18回	地域文化演習 その17	
第19回	地域文化演習 その18	
第20回	地域文化演習 その19	
第21回	地域文化演習 その20	
第22回	地域文化演習 その21	
第23回	地域文化演習 その22	
第24回	地域文化演習 その23	
第25回	地域文化演習 その24	
第26回	地域文化演習 その25	
第27回	地域文化演習 その26	
第28回	地域文化演習 その27	
第29回	地域文化演習 その28	
第30回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1402000	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	330REG301						

授業概要

4 回生の卒業論文に関する指導を内容とする地域文化演習 に直接つながる授業と位置づける。個別にゼミを選択し、各自のテーマに従って研究を進める。

到達目標

(1)指導教員やゼミ生、および地域との関わりのなかで、リーダーシップと協調性をもって主体的に研究活動ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	指導教員やゼミ生、および地域との関わりのなかで、リーダーシップと協調性をもって主体的に研究活動ができるようになる(100%)については、毎回のゼミでのディスカッション(50%)と報告内容(50%)で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による。

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1402000	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	330REG301						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容やスケジュールについて説明する。
第2回	地域文化演習 その1	
第3回	地域文化演習 その2	
第4回	地域文化演習 その3	
第5回	地域文化演習 その4	
第6回	地域文化演習 その5	
第7回	地域文化演習 その6	
第8回	地域文化演習 その7	
第9回	地域文化演習 その8	
第10回	地域文化演習 その9	
第11回	地域文化演習 その10	
第12回	地域文化演習 その11	
第13回	地域文化演習 その12	
第14回	地域文化演習 その13	
第15回	地域文化演習 その14	
第16回	地域文化演習 その15	
第17回	地域文化演習 その16	
第18回	地域文化演習 その17	
第19回	地域文化演習 その18	
第20回	地域文化演習 その19	
第21回	地域文化演習 その20	
第22回	地域文化演習 その21	
第23回	地域文化演習 その22	
第24回	地域文化演習 その23	
第25回	地域文化演習 その24	
第26回	地域文化演習 その25	
第27回	地域文化演習 その26	
第28回	地域文化演習 その27	
第29回	地域文化演習 その28	
第30回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1402010	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	430REG401						

授業概要

卒業論文に関する指導をする。個別にゼミを選択し、各自のテーマに従って研究を進める。

到達目標

(1) 卒業論文の研究課題にとりくむための研究計画を立案し、それに基づいて研究を実行できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	卒業論文の研究課題にとりくむための研究計画を立案し、それに基づいて研究を実行できるようになるについては、毎回のゼミでのディスカッション(50%)と報告内容(50%)で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各ゼミ教員の指示による

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1402010	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	430REG401						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	各担当教員より、各回の内容やスケジュールについて説明する。
第2回	地域文化演習 その1	
第3回	地域文化演習 その2	
第4回	地域文化演習 その3	
第5回	地域文化演習 その4	
第6回	地域文化演習 その5	
第7回	地域文化演習 その6	
第8回	地域文化演習 その7	
第9回	地域文化演習 その8	
第10回	地域文化演習 その9	
第11回	地域文化演習 その10	
第12回	地域文化演習 その11	
第13回	地域文化演習 その12	
第14回	地域文化演習 その13	
第15回	地域文化演習 その14	
第16回	地域文化演習 その15	
第17回	地域文化演習 その16	
第18回	地域文化演習 その17	
第19回	地域文化演習 その18	
第20回	地域文化演習 その19	
第21回	地域文化演習 その20	
第22回	地域文化演習 その21	
第23回	地域文化演習 その22	
第24回	地域文化演習 その23	
第25回	地域文化演習 その24	
第26回	地域文化演習 その25	
第27回	地域文化演習 その26	
第28回	地域文化演習 その27	
第29回	地域文化演習 その28	
第30回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	地域文化基礎演習					担当教員	学科教員 / 東 幸代 / 石川 慎治 / 市川 秀之 / 亀井 若菜 / 京樂 真帆子 / 定森 秀夫 / 武田 俊輔 / 田中 俊明 / 塚本 礼仁 / 中井 均 / 濱崎 一志 / 水野 章二 / 横田 祥子
講義コード	1402011	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	130REG105						

授業概要

地域文化学科で学び研究することになる専門分野に関して、基礎的な知識や研究の手法を学ぶ。学生は二つのグループに分かれ、授業ごとに学科教員全員の指導を受けることになる。

到達目標

(1)専門分野に関する基礎的な知識や研究の手法を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	専門分野に関する基礎的な知識や研究の手法を身につけることができるについては、第2回～第15回の毎回の小レポートで評価する(100%)。100点満点で60点以上を合格とする。
上記以外		

授業外学習

第2回より、毎回各分野のテーマに沿った小レポートを提出してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学的滋養ガイド	滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編	昭和堂	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域文化財論 B					担当教員	濱崎 一志
講義コード	1402030	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130HER105-C						

授業概要

学術的な価値や美術的な価値は高くはないものの、人々の永きにわたる営みにより、地域の中ではぐくまれてきた地域文化財について講義する。歴史的環境を構成する地域文化財のうち、遺跡や建造物もしくは建造物群を中心に講義し、その保全について解説する。

到達目標

- (1)身近な生活空間の中に遺存している地域文化財について理解し、その多様性を説明できること。
(2)地域文化財のはぐくまれてきた歴史的環境を理解し、説明できること。
(3)地域文化財を再評価し、その保存・活用について考えられること。
(4)地域や時代を問わず、地域文化財を取り上げ、人々を魅了する点について批評することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	到達目標で示す(1)身近な生活空間の中に遺存している地域文化財について理解し、その多様性を説明できること、(2)地域文化財のはぐくまれてきた歴史的環境を理解し、説明できること、(3)地域文化財を再評価し、その保存・活用について考えられること、(4)地域や時代を問わず、地域文化財を取り上げ、人々を魅了する点について批評することが
上記以外	20	レスポンスペーパー

課題レポート(80%)とレスポンスペーパー(20%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地誌学					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1402050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	330SOC305						

授業概要

地理学は系統地理学と地誌学とに大別される。系統地理学は「～の気候」（自然地理学）や「～の産業」（人文地理学）というようにさまざまなテーマごとの分析を行うが、地誌学は系統地理学の知見を統合し、「地域」それ自体の特性を明らかにする分野である。本講義では、国内外のいろいろな「地域」を素材とし、その特徴を他地域との共通性あるいはユニークさに留意しつつ解説していく。また、地図を使った作業などを通して、地域研究の経験も重ねさせていきたい。

到達目標

- (1) 日本・世界の地域問題を、人文地理学の観点から考察することができる。
- (2) 日本・世界の地域問題を、自然地理学の観点から考察することができる。
- (3) 日本・世界の地域問題を、統計データや地図から読み取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	出題方針、採点基準は授業にて通知する。
レポート課題		
上記以外	40	宿題を課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地理学基礎シリーズ 地誌学概論	矢ヶ崎典隆ほか	朝倉書店	974-4-254-16818-1
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

人文地理学Aを履修済みであること。

履修資格

講義名	中国・内モンゴル地域文化論					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402080	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区域の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それ等を通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル＝遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語文献講読					担当教員	横田 祥子
講義コード	1402090	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業概要

中国語の新聞・雑誌・論文などの読解を通じて、中国語の高度な表現を学ぶとともに、現代中国事情を理解する。また、ピンイン・発音など基礎能力の確認と、基礎表現の定着をはかる。

到達目標

中国語メディアを日常的に利用できる語学力を身につける。また、中国語文献を読み、中国事情を理解できるようになることを目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) 中国語のピンインを正しく表記し、正確に発音できる。(10%) (2) 中国語の文章を的確に読解できる。(10%) (3) 日本語の文章を中国語に翻訳できる。(10%)
レポート課題	30	中国語の新聞・雑誌・論文を読んで理解し、適当な日本語に翻訳できる。
上記以外	40	毎回授業開始時に実施するテストで、単語・ピンイン・文章を正確に書ける。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

毎回、予習をしてきてください。電子辞書があると便利です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中国語文法教室	杉浦博文	大修館書店	9784469231212
2	中国語の文法スーパーマニュアル——中国語の奥底を流れる超重要ルールがわかる	古川裕	アルク	9784757413764
3	聴く中国語		日中通信社	

毎回読む文献は授業中に配付します。

前提学力等

原則として中国語 A、 B、 A、 Bを履修していること。

履修資格

講義名	中国語文献講読					担当教員	横田 祥子
講義コード	1402090	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	中国語基礎力の確認
第2回	中国語テキストの読解 1－日常生活について－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第3回	中国語テキストの読解 2－日常生活について－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第4回	中国語テキストの読解 3－食文化－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第5回	中国語テキストの読解 4－食文化－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第6回	中国映画から表現を学ぶ 1	中国映画の名作を鑑賞しながら、日本語にはない表現の仕方を学ぶ。
第7回	中国映画から表現を学ぶ 2	中国映画の名作を鑑賞しながら、日本語にはない表現の仕方を学ぶ。
第8回	中国語テキストの読解 5－社会問題－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第9回	中国語テキストの読解 6－社会問題－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第10回	中国語テキストの読解 7－若者事情－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第11回	中国語テキストの読解 8－若者事情－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第12回	中国映画から表現を学ぶ 3	中国映画の名作を鑑賞しながら、中国文化を色濃く表す表現の仕方を学ぶ。また、映画を通じて中国事情について学ぶ。
第13回	中国映画から表現を学ぶ 4	中国映画の名作を鑑賞しながら、中国文化を色濃く表す表現の仕方を学ぶ。また、映画を通じて中国事情について学ぶ。
第14回	中国語テキストの読解 9－歴史－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第15回	中国語テキストの読解 10－歴史－	中国語テキストを用いて、ピンイン・声調と文法を確認しながら、読解していく。
第16回	中国語新聞記事の読解 1	中国語の新聞記事を読み、新聞表現と中国事情を学ぶ。
第17回	中国語新聞記事の読解 2	中国語の新聞記事を読み、新聞表現と中国事情を学ぶ。
第18回	中国語新聞記事の読解 3－日本に関する報道－	日本についての中国語新聞記事を読む。
第19回	中国語新聞記事の読解 4－日本に関する報道－	日本についての中国語新聞記事を読む。
第20回	中国語テレビ番組から学ぶ 1－宗教－	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、宗教事情について学ぶ。
第21回	中国語テレビ番組から学ぶ 2－宗教－	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、宗教事情について学ぶ。
第22回	中国語雑誌記事の読解 1－宗教－	宗教事情についての中国語新聞記事を読む。
第23回	中国語雑誌記事の読解 2－宗教－	宗教事情についての中国語新聞記事を読む。
第24回	中国語雑誌記事の読解 3－民族－	民族事情についての中国語新聞記事を読む。
第25回	中国語テレビ番組から学ぶ 3－民族－	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、民族事情について学ぶ。
第26回	中国語テレビ番組から学ぶ 4－民族－	中国語のテレビ番組を鑑賞しながら、表現を学ぶとともに、民族事情について学ぶ。
第27回	中国語論文の読解 1	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第28回	中国語論文の読解 2	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第29回	中国語論文の読解 3	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。
第30回	中国語論文の読解 4	中国語で書かれた文化人類学の民族誌を読む。

担当者から一言

日本人にとって中国語の読解は、基本的文法をおさえていれば、それほど難しくありません。一年後には、たいいていの文章が読めるようになります。ぜひ本授業を活用して下さい。

講義名	中国地域文化特論					担当教員	前田 尚美
講義コード	1402100	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	330EXC301						

授業概要

発展目覚まし一方で、外交において強硬な姿勢から注目される中国だが、その歴史のなかで、特にここ数年、明代(1368～1644)やその実質的2代目にあたる永楽帝の存在が注目されている。そこで本講義では明代に焦点をあて、全体的な流れと各々の事件やトピックスを通じて現代中国に通じる影響をみていく。

また一方で、明の成立と前後して日本では鎌倉時代から室町時代へ、朝鮮半島では高麗から朝鮮王朝(李氏朝鮮)になるなど、東アジアが連動して動いていることがわかる時代でもある。東アジアの歴史的展開のなかでの中国史を考えていく。

到達目標

- (1) 明代の歴史的展開を理解すること
- (2) 東アジア全体からみるという視点の習得
- (3) 歴史から現代を見る・考える手法の習得

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	講義内容をどう受け止め、どのように考えたかを重視。
レポート課題		
上記以外	60	毎回の講義で提出してもらふレスポンスペーパー。講義内容をどう受け止め、どのように考えたかを重視。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義及びプリントで適宜紹介していく

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布。参考文献も適宜紹介していく。

前提学力等

高校世界史の中国史、アジア史や日本史の事項のついて知っておくことが望ましい。

履修資格

講義名	中国地域文化論					担当教員	横田 祥子
講義コード	1402110	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230EXC202						

授業概要

近年、中国が目覚ましい経済発展を遂げ、国際社会においてプレゼンスを高めるにつれ、経済発展や、それに伴う経済格差の拡大、環境汚染の深刻化など中国社会が直面している問題に関して、詳しい情報が流れている。これに比して、中国に生きる人々がどのような暮らしを送り、どのような文化的実践を行っているのかについては、相対的に情報量が減っているように思われる。しかし、隣国中国を総合的に理解するためには、政治経済的側面、社会問題だけでなく、社会的文化的側面からもアプローチする必要がある。そこで本授業では、中国の文化・社会を構成する重要なエッセンス、トピックを取り上げ、文化人類学的観点から理解を深める。

到達目標

- (1) 中国の文化の重要な基本概念を理解する。
- (2) 中国の文化の地域的・民族的多様性と、それに対する漢族の影響を理解する。
- (3) 中国文化の魅力を楽しむ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(1) 中国の文化の重要な基本概念を理解し、説明できる。(20%) (2) 中国の文化の地域的・民族的多様性と、それに対する漢族の影響を理解し、説明できる。(20%) (3) 中国の文化・社会について、自ら関心がある事象についての情報を収集し、まとめることができる。(30%)
上記以外	30	授業内容を理解し、発展的な質問ができる。

授業外学習

大学図書館には、中国の世界遺産や少数民族の文化、周辺国への文化的影響力を描いた映像資料や、少数民族が置かれている状況を伝える映画が多数ありますので、ぜひ鑑賞してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ハンドブック現代中国	愛知大学現代中国学部	あるむ	9784863330634
2	現代中国を知るための60章	高井潔司, 遊川和郎	明石書店	4750317721
3	漢民族と中国社会	橋本萬太郎	山川出版社	4634440504

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語文文献講読					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1402160	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業概要

東アジアの考古学の成果を吸収することは、日本考古学研究を進めていく上で必須になりつつあるといっても過言ではない。特に、朝鮮半島ななく韓国語で刊行された報告書・書籍および考古学関係雑誌掲載論文の中から重要と思われる文献を選び、講読し日本語訳文を作成していく。

到達目標

1. 辞書を使用して韓国語で書かれた考古学の文献を訳すことができるようになる。
2. 考古学の文献の日本語訳文を作成して、翻訳した韓国考古学文献の内容を理解する。
3. 日本考古学と韓国考古学との比較検討ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業への出席と翻訳担当部分の発表内容を評価基準とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語(初級コース)を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語文文献講読					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1402160	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号							

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	購読文献の決定	授業の注意と進め方の説明。購読する文献を決める。購読文献の担当部分の決定。
第2回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第3回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第4回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第5回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第6回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第7回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第8回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第9回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第10回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第11回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第12回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第13回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第14回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第15回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第16回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第17回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第18回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第19回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第20回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第21回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第22回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第23回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第24回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第25回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第26回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第27回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第28回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第29回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
第30回	文献購読	購読文献の担当部分の購読と翻訳および注釈。
担当者から一言		

講義名	朝鮮地域文化特論					担当教員	安田 純也
講義コード	1402170	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	330EXC302						

授業概要

この授業では、朝鮮文化の形成、展開を歴史的に振り返るが、今年度は高麗王朝期を取り上げる。高麗は約500年の長きにわたって朝鮮半島を支配した王朝であり、朝鮮の伝統文化と中国から伝来した文化が調和をなした時代である。また、高麗の文化財の多くは日本列島各地に伝存しており、高麗は日本と関わりの深い王朝である。

授業では、韓国、日本の学界における研究成果を踏まえつつ、高麗王朝の歴史について論じる。

到達目標

(1)高麗を中心とする朝鮮文化史の概要を把握できるようにする。(2)高麗時代史を多面的に把握できるようにする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	
レポート課題	20	
上記以外	40	平常点（授業中の質問、宿題等）、小テスト

宿題は随時課します。小テストは1回実施します。

授業外学習

シラバスや授業中に提示する文献を読んでおきましょう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史 - 先史から現代	田中俊明	昭和堂	
2	世界美術大全集 - 高句麗・百済・新羅・高麗	菊竹淳一・吉田宏志	小学館	
3				

前提学力等

朝鮮半島の歴史に興味を持つ学生を対象とします。

履修資格

講義名	朝鮮地域文化論 B					担当教員	河 かおる
講義コード	1402190	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかみつつ、特に困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。

5月に留学から帰国する学生も履修できるよう、講義は5月中旬から開始する。休講分は学期末に調整する（詳細は講義中に説明する）。初回ガイダンスは4月の初回に実施し、その内容は海外で履修登録した者にもポータルを通じて配信する。

到達目標

- (1) 講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組める。
- (2) 朝鮮の近現代史、特に日本とかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができる。
- (3) 講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	期末課題（プレゼンテーション・レポート）
上記以外	50	小レポート

授業外学習

ほぼ毎回小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史	田中俊明	昭和堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本の植民地支配 ― 肯定・賛美論を検証する	水野直樹・藤永壯・駒込武	岩波書店	
2				
3				

授業内容に関する文献リストを授業で配付する。

前提学力等

アジア文化論Bを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮文化論					担当教員	河 かおる
講義コード	1402200	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

この授業では、隣国「朝鮮」（現在朝鮮半島にある二つの国家およびそれ以前も含む）について、次のような手順で理解を深め、考察していきます。前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。後半は、韓国・朝鮮に関するトピックを3つとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについてグループで調べ、最終的にプレゼンテーションをします。

到達目標

- (1) 朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。
- (2) 韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。
- (3) 韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	【レポート】 講義の前半で扱う朝鮮／韓国をめぐる「呼称」問題と関連するテーマを自分で具体的に設定し、文献等で調査を行い考察しなさい。
上記以外	70	【小レポート】30% 【プレゼンテーション】30% 【振り返りレポート】10%

授業外学習

ほぼ毎回、小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	地理学実習					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1402201	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	230S0C212						

授業概要

地理学研究は、(1)主題図の作成と(2)統計データの解析を組み合わせに進められることが多く、これらの正確さ・緻密さが研究内容そのものを左右する。本実習では(1)主題図作成の基礎的技能を身につけ、最後に地域分析プレゼンテーションという形にまとめる。なお、地理学実習 は(2)統計データの解析に関する内容である。

到達目標

- (1)ドローイングソフトウェアを操作し、地理的データを地図化することができる。
(2)GISソフトウェアを操作し、地理的データを地図化することができる。
(3)論理的なプレゼンテーションを行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終報告による。採点基準の詳細は授業にて通知する。
上記以外	50	実習成果物による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MANDARAとEXCELによる市民のためのGIS講座 第3版	後藤真太郎ほか	古今書院	978-4-7722-4162-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地図表現ガイドブック	浮田典良・森 三紀	ナカニシヤ出版	978-4-88848-847-9
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	地理学実習					担当教員	塚本 礼仁
講義コード	1402202	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	230S0C213						

授業概要

地理学研究は、(1)主題図の作成と(2)統計データの解析を組み合わせに進められることが多く、これらの正確さ・緻密さが研究内容そのものを左右する。本実習では(2)統計データ解析の基礎的技能を身につけ、最後に地域分析プレゼンテーションという形にまとめる。なお、地理学実習 は(1)主題図作成に関する内容である。

到達目標

- (1)多変量解析を用いて定量的な地域分析を行うことができる。
- (2)多変量解析の結果を地図化し、解釈することができる。
- (3)論理的なプレゼンテーションを行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終報告による。採点基準の詳細は授業にて通知する。
上記以外	50	実習成果物による。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	MANDARAとEXCELによる市民のためのGIS講座 第3版	後藤真太郎ほか	古今書院	978-4-7722-4162-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 地域分析 : データ入手・解析・評価	村山祐司・駒木伸比古	古今書院	978-4-7722-5272-0
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	哲学概論 A					担当教員	鞍田 崇
講義コード	1402240	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	2300TH202, 235LAH301						

授業概要

「デザインと連携する哲学」を探るのが、この授業のねらい。

「これからあるべき社会の姿をデザインすること」が、いま、哲学に課せられています。この役割は、哲学だけでは担いきれない。デザインとの連携があってはじめて可能となるものです。なぜなら、両者セットで人間固有の能力だからです。

ところで、ここでいう「社会」とは、自分たちが生活をいとなむ社会です。「これからあるべき社会の姿をデザインすること」を考える上で、何よりも大事なのは、「ひとごとじゃない」という実感をもつこと。この講義では、何よりもまず、そうした実感を皆さんと共有していきたいと考えています。

でも、なぜか。社会が大きく変わりつつある、いや大きく変えなきゃいけない時代だからです。この講義を機に、特にみなさんにぜひ考えていただきたいことが2点あります。

1) 人口減少

到達目標

1. 自分で「哲学する」ことのきっかけを得ること。
2. 社会と暮らしが「ひとごとじゃない」という実感をもつこと。
3. 現代思想で問われていることの意味と歴史的背景を理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	学期末の最終レポート課題です。論述力、表現力、着眼点など、総合的に判断します。
レポート課題	35	学期中に一回、小レポート課題を出します。
上記以外	15	平常点として、授業への取り組み方など。

授業外学習

参考事例として掲げたものは、適宜自分でも調べるように。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	民藝の「インティマシー」	鞍田崇	明治大学出版会	4906811132
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	民藝 のレッスン	鞍田崇 (編)	フィルムアート社	4845911833
2	「生活工芸」の時代	三谷龍二 (編)	新潮社	4103365315
3	哲学入門以前	川原栄峰	南窓社	4816500545

前提学力等

哲学概論ですが、狭義の哲学・思想だけが対象ではありません。デザインやアート、建築や工芸、農業や民俗などなど、ひろく柔軟な興味関心をもっていることがのぞましいです。そうじゃない人は、この機会に

履修資格

講義名	統計学基礎					担当教員	細馬 宏通
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203						

授業概要

最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、数式を意識しなくても気軽に統計をあつかえるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから手をつけていいかとまどう人が多い。そもそもなぜそのデータに対して統計的処理を行なう必要があるのか。データにはどんな性質があるか。どんなタイプのデータにはどんな手法がふさわしいのか。どんな手法を使うとどんな結果が引き出されるのか。本講義では、以上のような問題を念頭に置きながら、標本や母集団などの基本的な概念から出発して、推定や検定、検証的アプローチと探索的アプローチの基本的な知識を扱う。

到達目標

- (1)母集団と標本の概念を身につける。
- (2)相関を含む記述統計量の基本的な使い方を習得する。
- (3)推定と検定の基本手順を習得する。
- (4)日常生活で用いられる統計学的な考えに関心を持ち、検証する態度を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	全回で扱った統計学的知識が正しく理解できているかを問う。
レポート課題		
上記以外	30%	小テスト(随時)：各回で扱った統計学的知識を理解しているかを問う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マンガでわかる統計学	高橋信	オーム社	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	東洋史概説					担当教員	田中 俊明
講義コード	1402370	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130EXC101						

授業概要

東アジア世界の形成

東洋史はアジア史であり、広大な地理的空間と長い歴史をもっている。それをすべて扱うのは無理なので、ここでは東アジアにしぼって論述していく。東アジアとは、中国を中心として、朝鮮半島や日本、ベトナムなどを含む地域を指す。時代によって変化するが、ここで扱うのは、その形成期であり、どのようにしてひとつの世界とよぶことができるようになったのかについて概観していきたい。

到達目標

概説であり、中国史の前半とその時期の周辺地域との関係について概観するが、とうぜん知っておいてよい歴史的な流れである。そうした基礎知識を身につけてもらいたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	学期末の定期試験の期間に実施
レポート課題	20	最初の授業で、課題・締切について伝える。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使わない。毎回、史料を中心としたプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は、適宜紹介する。

前提学力等

高校の世界史教科書の該当部分については、知っておく必要がある。

履修資格

講義名	日本・地域交流特論					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1402380	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	330HIS301						

授業概要

日本古代史の史料を輪読しながら、当時の政治・文化・社会への理解を深める。

到達目標

- (1)日本の歴史に関する基礎知識を理解し、史料の書き下しを正確に行うことが出来る。
- (2)日本の歴史に関する基礎知識を理解し、史料の解釈を正確に行うことが出来る。
- (3)日本の歴史に関する基礎知識を理解し、地域交流などの論点についての議論を行うことが出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	適宜行う小テスト 30パーセント まとめの確認テスト 70パーセント

授業外学習

授業期間内に適宜確認テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本史概説					担当教員	水野 章二
講義コード	1402390	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130HIS102						

授業概要

日本の前近代がどのような社会であったかを、近現代社会との対比を通して具体的に考える。特に民衆に焦点をあて、民衆が生きていくために不可避免的に取り結ばざるを得なかった社会集団—身分編成のあり方や生産・生活の場の特質、前提となった歴史的環境とその変化などを多面的に検討する。

到達目標

- (1) 前近代社会における民衆の生活環境が理解できる。
- (2) 前近代社会に生きた人々の意識・認識が理解できる。
- (3) 前近代社会と近現代社会の相違が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	(1) 前近代社会における民衆の生活環境が理解できる。 30% (2) 前近代社会に生きた人々の意識・認識が理解できる。 30% (3) 前近代社会と近現代社会の相違が理解できる。 20%
レポート課題		
上記以外	20	到達目標各項目について、理解度を確認し、質問させるレスポンスペーパーを随時提出。

授業外学習

関連する著書・論文を各自で読み込む。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	里山の成立—中世の環境と資源—	水野章二	吉川弘文館	978-4-642-08284-6
2	中世の人と自然の関係史	水野章二	吉川弘文館	978-4-642-02884-4
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本社会論					担当教員	武田 俊輔
講義コード	1402400	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130SOC101-C,235SOC303-C						

授業概要

同じ「日本社会」の中で暮らしつつも、その社会のメンバーシップからはじき出されてきた様々な人々の姿を通して、戦前・戦後の「日本社会」の姿を再検討することにある。労働市場からも教育からも福祉からも排除されていく人々の視点から「日本社会」はどう映るのか。またそうした人々を改めて社会に包摂した形で社会的な連帯を創り出すことの可能性を論じる。

到達目標

(1)戦前期日本における国民国家形成のプロセスと、貧困や差別を背景として人々が国家にどのように動員されたのか、そのメカニズムを理解することができる。
(2)戦後～現代の日本における非正規雇用者やエスニック・マイノリティに関する社会的排除と現代に至るその顕在化について理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)戦前期日本における国民国家形成のプロセスと、貧困や差別を背景として人々が国家にどのように動員されたのか、(2)戦後～現代の日本における非正規雇用者やエスニック・マイノリティに関する社会的排除と現代に至るその顕在化について、の2点についての理解度に基づき、評価を行う。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

レスポンスカードの内容に基づいて、加点する場合がある（最大5点）。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナショナリズム論・入門	大澤真幸・姜尚中（編著）	有斐閣	4641123357
2				
3				

毎回、レジュメを配布する。

前提学力等

近現代の日本史について、高校教科書程度の知識があることが望ましい（必須ではない）。

履修資格

講義名	日本史料講読					担当教員	東 幸代 / 水野 章二
講義コード	1402420	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG104						

授業概要

日本の前近代の社会や文化を理解する上で必要な各種史料の読解力を養う。各時代を代表する史料を選んで輪読し、史料の具体的な内容を検討するとともに、史料の作成された時代や社会の特質などについて考察して、歴史研究の基礎を身につける。
前期は彦根藩関係の史料、後期は鎌倉幕府法などをとりあげる。第1回（前期）・第16回（後期）はテキストとする史料の性格と時代背景などを解説するが、第2回（前期）・第17回（後期）以降は順番に報告者を決め、史料の解釈などをしてもらうとともに、その歴史的な意味などを考える。

到達目標

- (1) 近世の基本史料の解釈・理解ができる。
(2) 古代・中世の漢文史料の解釈・理解ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 近世の基本史料の解釈・理解ができる。25% (2) 古代・中世の漢文史料の解釈・理解ができる。25%
レポート課題	50	(1) 近世の基本史料の解釈・理解ができる。25% (2) 古代・中世の漢文史料の解釈・理解ができる。25%
上記以外		

授業外学習

適宜紹介する中・近世史の基本文献を各自で読み込む。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは授業時にプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本史料講読					担当教員	東 幸代 / 水野 章二
講義コード	1402420	単位数	2	開講期	通年		
ナンバリング番号	130REG104						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	前期授業方針の説明と今後の進め方	彦根藩関係史料をとりあげ、史料の性格や作成された目的、当時の彦根藩をとりまく社会状況などを解説するとともに、輪読担当者が何をどのような方法で調べて、報告するのかを説明し、今後の進め
第2回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第3回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第4回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第5回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第6回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第7回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第8回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第9回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第10回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第11回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第12回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第13回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第14回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した史料を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第15回	前期まとめ	近世史料の特色を整理するとともに、近世社会がどのような社会であったのかを確認する。
第16回	後期授業方針の説明と今後の進め方	鎌倉幕府法（御成敗式目）を素材に、中世法の特質や式目が作成された時代背景などを解説するとともに、輪読担当者が何をどのような方法で調べて、報告するのかを説明し、今後の進め方を確定す
第17回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第18回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第19回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第20回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第21回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第22回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第23回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第24回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第25回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第26回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第27回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第28回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第29回	担当者による史料解釈と調べた内容の報告	各自が担当した条文（漢文）を解釈し、その内容について調べてきたことを発表するとともに、それに対する質問・回答を通じて、史料読解能力を深める。
第30回	後期まとめ	中世史料の特色を整理するとともに、中世社会がどのような社会であったのかを確認する。
担当者から一言		

講義名	日本文化史論					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1402440	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

ジェンダーでみる日本史を考える。日本における女性史研究は戦前からの長い歴史を持っている。近年、ジェンダーの概念を取り入れることによって、新しい日本女性史が描かれるようになってきた。女性であることが歴史の中でどういう意味を持ち、どう評価されてきたのかを考えていく。

到達目標

- (1)日本文化の歴史に関する基礎知識を理解し、それを現代文化との比較を通して論じることが出来る。
- (2)日本文化史に関する基礎知識を理解し、それを諸外国との比較を通して論じることが出来る。
- (3)日本文化史の基礎知識に基づき、文化の保存と活用について具体的な提言が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	女性史ジェンダー論に関するテーマでレポートをまとめることができる。
上記以外	30	毎回のレスポンスカードの評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本文化史論 B					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1402442	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HIS209						

授業概要

ジェンダーでみる日本史を考える。日本における女性史研究は戦前からの長い歴史を持っている。近年、ジェンダーの概念を取り入れることによって、新しい日本女性史が描かれるようになってきた。女性であることが歴史の中でどういう意味を持ち、どう評価されてきたのかを考えていく。

到達目標

- (1)日本文化の歴史に関する基礎知識を理解し、それを現代文化との比較を通して論じることが出来る。
- (2)日本文化史に関する基礎知識を理解し、それを諸外国との比較を通して論じることが出来る。
- (3)日本文化史の基礎知識に基づき、文化の保存と活用について具体的な提言が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	女性史ジェンダー論に関するテーマでレポートをまとめることができる。
上記以外	30	毎回のレスポンスカードの評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本文化論					担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1402450	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	130HIS101						

授業概要

日本文化の諸相を歴史的に分析する。特に、日本映画に描かれる日本文化の問題点を歴史学的見地から評価していく。

到達目標

- (1) 日本前近代の歴史に関する基礎知識を理解し、それを現代社会との比較を通して論じることが出来る。
- (2) 日本の近代史に関する基礎知識を理解し、それを現代社会との比較を通して論じることが出来る。
- (3) 日本文化の基礎知識に基づき、その保存と活用について具体的な提言が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	課題映画について論じる。
上記以外	30	毎回のレスポンスカード

授業外学習

適宜指示する

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	人間文化論 A					担当教員	細馬 宏通 / 石川 慎治 / Borjigin Burensain / 村上 健太郎 / 森下 あおい
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102						

授業概要

人間文化学部は、地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科の5学科から成っている。しかしそれぞれの学科は特定の分野の中に閉じ込められているわけではない。では、それぞれの学科は外の分野に向かってどのように開かれているのだろうか、それを考える手がかりとして、この講義では異なる学科に属する10組の教員どうしの対談と、各学科の教員による5つのレクチャーが行われる。これから4年間を過ごす学部で、どのように学問の関心を広げ、他学科の教員や学生と交流を開いていけばよいのか、この講義からそのことを考えるヒントをつかんでほしい。

到達目標

- (1)人間の文化に関する知識を幅広く身につけ、理解できる。
- (2)学問領域を越えて、多様なできごとに興味と関心を持つ態度を持つことができる。
- (3)自分の領域で直面している問題に対して、他領域の人々とディスカッションを行い、柔軟な思考と判断を行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	最終レポート課題（学生による学科間ディスカッションによるもの）
上記以外	50	各対談時のリスポンスペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論 B					担当教員	呉 凌非 / 東 幸代 / 市川 秀之 / 中井 均 / 山本 薫
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103						

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。
本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。
本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	レポートの完成度に対する採点
上記以外	30%	○ 出席 ○ 授業での学習態度 ○ 課題の提出

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論C					担当教員	宮本 雅子 / 中村 好孝 / 松嶋 秀明 / 村上 健太郎 / 横田 尚美
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203						

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科（生活デザイン・生活栄養・人間関係）教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。

この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する（宮本・横田）。衣食住の中で、食が、一番夢がないといわれている。「カラダのためにコレを食べなさい、コレは食べてはいけません」、といわれ続け、説教食事学といわれ、食事担当者は毎日食事を作らなくてはならない。この講義では、科学的根拠に基づいて、現代人（とくに日本人）の食習慣の特徴について考察し、食習慣に影響を与える要因（とくに環境要因）について論じる（村上）。

さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を5回講義する（松嶋・中村）。

到達目標

（宮本・横田）（1）住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。（2）自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる。

（村上）（1）日本人の食習慣の特徴を理解することができる。（2）様々な生活環境が食習慣に影響を与えうることを理解することができる。

（松嶋・中村）（1）家族をみるための視点を身につけることができる。（2）現代的な社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	（宮本・横田）到達目標の（1）住宅の中の暮らしとその変化について理解すること、（2）自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす環境への影響に関心を持つことができる、については、課題レポート（33%：（1）19%、（2）14%）

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	農耕社会論					担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402580	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

農村が八割以上を占める中国社会は、古今を問わず農民によって動かされてきた。その原動力の裏にはどんな仕組みが存在するであろうか。本講義では、農耕と文明との関係など、基礎的な知識を簡単に回顧したうえで、主として中国の農耕社会とその影響を受けて形勢された周辺地域の農耕社会を比較しながらアジアの農耕社会の仕組みを見ていきたい。また、農村問題を通して経済大国－中国が抱える問題とその行方を講義する。

到達目標

本講義では、世界最大規模の農耕社会を抱える中国の農村の社会構造を歴史的に整理したうえで、農耕大国中国の現状を理解できることを目指したい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に参加すること
レポート課題	30	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席とレスポンスカードによる積極的なやり取りを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	博物館経営論					担当教員	市川 秀之 / 中井 均
講義コード	1402601	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	304CUR201, 3300TH302						

授業概要

学芸員としての活動を円滑におこなうために必要とされる博物館の施設・組織・運営に関する内容を事例を中心に講義する。また近年重要になってきている博物館運営への市民参加についてもとりあげたい。

到達目標

- (1) 博物館運営についての基礎的知識を習得すること
- (2) 実際の博物館の運営について評価する視点を獲得すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	博物館運営についての基礎的知識が習得されているか否か
レポート課題	20	実際の博物館 見学しそのレポートを作成することによって運営について評価する視点を獲得できているか否かを評価
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードを通じて授業の内容を理解しているか否かを評価

レポートを提出していないものは評価対象としない

授業外学習

宿題は特に課さないが、毎回提出を求めるレスポンスカードについては採点の対象とする。また次回に配布する回答についても熟読すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館講座協議会西日本部会	芙蓉書房出版978-4-8295-0551-9	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業ではプリントを配布する

前提学力等

博物館学概論を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	博物館展示論					担当教員	亀井 若菜 / 高木 文恵 / 野田 浩子
講義コード	1402602	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	304CUR203, 3300TH301						

授業概要

博物館は、展示を通して来館者に情報を発信し、来館者はそれを受け止める。博物館の重要な役割を担う展示に関する諸問題について考えていく。

到達目標

- (1)博物館の展示を見て、自分でその内容や意味について考えられるようになる。
(2)博物館の実際の展示の方法、内容、問題等について理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

到達目標(1)については、授業毎のレスポンスカード(20%)と、博物館展示見学の上で提出してもらったレポート(30%)で評価する。
到達目標(2)については、授業毎のレスポンスカード(30%)と、レポートで評価する(20%)。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域と行政					担当教員	宗野 隆俊
講義コード	1402665	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230S0C210						

授業概要

1990年代以降、私たちの社会はさまざまな改革の波に洗われてきました。改革の時代を経て、大きく変化したものもあれば、そうでないものもあります。何が変化し、何が変化しなかったのかは、同時代の人間にとってはみぎわめが容易ではありません。変化の速い時代を知ることはむずかしいですが、自分の生きる社会がどのような経緯をたどっているのかを知る材料はあります。

「地域と行政」では、地方自治制度の基本的なしくみに留意しつつ、「中央と地方」、「官と民」あるいは「公と私」の関係に焦点をあてて、日本社会を特徴づける枠組みがどのように変遷してきたのか、さらにそれは現在どのような方向に進みつつあるのかを考えます。とくに、さまざまな民間の主体（住民、住民組織、NPO、民間企業など）が地域社会でどのような機能をしているのかを考えるきっかけを提供したいと考えています。

到達目標

- (1) 地方自治の基本的なしくみを理解する
- (2) 地方自治に関わる今日的な現象と意義、その現象が生起してきた背景を把握する
- (3) 上記 (1) (2) を、しっかりとした文章で的確に表現する

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	上記 (1) と (3) について、論述試験を行う (40点)。 上記 (2) と (3) について、論述試験を行う (60点)。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

講義では、特定の教科書は指定しないが、下記の参考書（佐々木信夫『現代地方自治』）が理解を助けてくれます。毎回レジュメを配布しますの

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	現代地方自治	佐々木信夫	学陽書房	9784313161405
2	ホーンブック 地方自治 第3版	磯崎初仁ほか	北樹出版	9784779304033
3				

前提学力等

学力の前提は設けませんが、地域社会や地方行政、経済の動向などに関心ある人の受講が望まれます。

履修資格

講義名	地域と経済					担当教員	秋山 道雄
講義コード	1402705	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230S0C209						

授業概要

人間が生活する場である地域は、スケールによって性格の異なる種類がある。我々が日常生活を送るもっとも身近な町内や集落から、市町村、都道府県、近畿圏のような広域圏に至るまで多様な地域が存在している。そして、こうした場で展開される経済活動の内容は、空間的なスケールによって異なっている。この授業では、地域において営まれる経済活動をとらえる基礎的な視点と方法を説明していく。さらに、経済の姿を定量的に把握するため、統計資料を用いた実態分析の方法を示す。

地域の経済は、今日の姿をとるまでにその地域がたどってきた経路の影響を受けている。そのため、地域経済の性格を把握するうえで、その歴史的な展開過程に注目していく。さらに、現在では経済のグローバル化が地域経済の在り方に影響をあたえるようになっている。そこで、グローバル化の中での地域経済という視点で対象をとらえていく方途を説明する。

地域経済の主軸をなすのは産業活動であるが、授業では産業活動に対象を限定せず、住民の生活や地域づくりの領域にまで拡張する。これを通じて、産業空間と生活空間を統合的に把握する方法を説明していく。

到達目標

- (1) 統計資料を用いて、地域経済の特性を説明することができる。
- (2) 現在の日本において生じている地域問題を示し、それが生じた背景を説明できる。
- (3) 第二次世界大戦後に展開した日本の地域政策の概要を示すことができる。
- (4) 自分の住んでいる地域もしくは関心のある地域について、その経済実態と問題点を説明し、それを克服する方策について自分の考えを述べるることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	到達目標(1)～(4)については、夏期休暇中にレポートを課す。
上記以外	30%	到達目標(2)、(3)については、授業中のミニレポートおよび宿題のレポートを課す。

定期試験は実施しない。その代わりに、夏期休暇時にレポートを課す。授業全体を履修して得た学力を総合的に発揮するようレポートを作成すること。

授業外学習

授業の準備として、あるいは授業の復習として、テキストを順次読んでいくことが望ましい。その場合、第1章は後回しにして、第2章から第4章までを先に読み、最後に第1章を読むと理解が深まる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国際化時代の地域経済学 第3版	岡田知弘ほか	有斐閣	978-4-641-12322-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は、授業中に説明する。

前提学力等

履修資格

講義名	比較文化論（地域文化）					担当教員	石川 慎治
講義コード	1402710	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230S0C208						

授業概要

2005年に改正された文化財保護法において、「地域における人々の生活又は生業及び当該地区の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」として、文化的景観が定義された。この講義では、地域の歴史および風土との関連の中で成立してきた文化的景観を対象として、海外の事例なども紹介しながら日本における地域文化の多様性をみていく。

到達目標

主に日本の文化的景観について学び、各地の多様な地域文化について述べるができるようにする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	55%	到達目標について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	45%	到達目標にについて、毎回レスポンスペーパーを提出する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	東アジア考古学概論					担当教員	定森 秀夫
講義コード	1402711	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130EXC103						

授業概要

朝鮮半島は、旧石器時代から現在に至るまで日本と非常に関係が深い。朝鮮考古学の概要を理解し、日本考古学と比較してその相違性と相似性を理解することを目的とする。まず最初に、朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史の概要を講義する。そして、旧石器時代から朝鮮時代までの各時代における考古学の成果と問題点を概説する。場合によっては、主要な遺跡を取り上げたり、特殊な遺構・遺物を取り上げたりして、それらに関する詳しい内容を講義する。また、適宜スライド・ビデオなどを利用して、理解を深める。

到達目標

1．朝鮮考古学の基本と朝鮮考古学史を理解する 2．旧石器時代から統一新羅時代までの朝鮮考古学の内容を理解する 3．日本考古学と比較して、日本と朝鮮との歴史的な関係を考える

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	小レポート2回(20%)と期末レポート1回(20%)の計3回。 レポート内容および文章構成などの作文能力を評価。
上記以外	60	レスポンスカードを兼ねた出席カードで、出席を確認。出席カード代筆は、評価で0点となる。

10回以上出席で、レポートを3回提出して評価をするので、9回以下の出席とレポート2回以下の提出は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	東アジア世界論					担当教員	田中 俊明
講義コード	1402712	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230EXC209						

授業概要

テーマ：高句麗の歴史
今年度は、高句麗史を取りあげる。高句麗とは、現在の中国遼寧省の東南部から吉林省の西南部にかけての地域の発祥し、東北アジアではいち早く成長した古代国家である。日本でもよく知られた広開土王（好太王）の時代に領土を大きく広げ、朝鮮半島のなかばを領有するようになった。そして427年に、平壤に都を移し、半島南部の百済・新羅に対する攻勢を強めていった。668年に、唐・新羅の連合軍によって滅ぼされるまで、隋の4回にわたる侵攻をしのぎ、また唐の太宗の遠征もしのいだ。最後は内紛によって唐のつけいるところとなり、滅亡を迎えた。この高句麗の発祥から、成長・中心地の移動・周辺に対する支配、そして日本にも影響を与えることのあった壁画古墳や仏教文化について、詳しく述べることにしたい。

到達目標

高句麗そのもの、および日本との関係についての知識を得る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	学期末の定期試験期間における試験を実施する
レポート課題	20	最初の授業で、レポートの課題、締切等について伝える。これで20点。
上記以外		

授業外学習

参考書等を見て、知識を高める努力が必要。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使わない。毎回、史料を中心としたプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、指示する。

前提学力等

高校の世界史・日本史の教科書の関連部分を見て、知識として身につけておく。

履修資格

講義名	美術史 A					担当教員	亀井 若菜
講義コード	1402731	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HIS205						

授業概要

この授業では、「浄土への憧憬・死の光景」「人物表現の諸相」の二つのテーマを立て、主に中世の日本美術の中から様々な表現を見、その表現に込められた意味を考えていくこととする。
造形表現を、どのように見たらよいのか、それはいかに解釈できるのかを、毎回プロジェクターを使い、表現の全体および細部を映しながら考えていく。
造形の魅力、それを作り出す制作者の技術や思い、造形を読み解く面白さを味わってもらいたい。

到達目標

- (1) 造形表現の特徴や意味を理解できるようになる。
- (2) 美術作品に関心を持ち、美術に表現されたものの意味を自分自身で考えられるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標の(2)について。
上記以外	50	到達目標(1)について達成確認テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	美術史概論					担当教員	亀井 若菜
講義コード	1402740	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

この授業では、「浄土への憧憬・死の光景」「人物表現の諸相」の二つのテーマを立て、主に中世の日本美術の中から様々な表現を見、その表現に込められた意味を考えていくこととする。
造形表現を、どのように見たらよいのか、それはいかに解釈できるのかを、毎回プロジェクターを使い、表現の全体および細部を映しながら考えていく。
造形の魅力、それを作り出す制作者の技術や思い、造形を読み解く面白さを味わってもらいたい。

到達目標

- (1) 造形表現の特徴や意味を理解できるようになる。
- (2) 美術作品に関心を持ち、美術に表現されたものの意味を自分自身で考えられるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標の(2)について。
上記以外	50	到達目標(1)について達成確認テストを行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	美術史実習					担当教員	亀井 若菜
講義コード	1402741	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230HIS202						

授業概要

美術史を研究していく上では、実際に作品（実物）を見ることが大変重要である。作品の図版を掲載した出版物は多くあるが、それらは印刷されたものに過ぎない。オリジナルの作品は一つしかないものであり、自分の目でそれを見て、質感や大きさなどを捉えることが研究の第一歩となる。この授業では、美術館・博物館に足を運び、自分の目で作品を見てそれについて報告することを実施する。見学は3回ほど、彦根城博物館や京都の博物館・美術館などへ行くことを予定している（見学に行った分の時間を換算して授業スケジュールを立てる。授業スケジュールについては初回の授業で説明する）。

見学前には事前勉強を、見学後には報告をしてもらう。ともに作品を見て意見を交換し合うことにより、美術に対する興味が高まることを期待する。また最後に、自分が関心を持った作品の一つを選び、それについての研究報告もしてもらう。

到達目標

- (1)美術作品に対して興味を持ち、自分の目で作品の特質を捉え、それについて言葉で表現できるようになる。
- (2)美術作品についての先行研究をある程度調べられるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		到達目標(2) 研究報告およびレポートで評価する(50%)。
上記以外	50	到達目標(1) 見学を積極的に行い、見学後、自分の言葉で作品の特質を語ることができるようになる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化財・保存修景論 A					担当教員	濱崎 一志 / 井口 貢
講義コード	1402920	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	413ARC308, 230HER201						

授業概要

歴史的環境を構成する地域文化財の保存・修景・活用について論ずる。前半では濱崎が、歴史的環境を構成する地域文化財、町なみや集落、遺構、遺跡などを調査し、その現代的意義を再評価し、現在の生活空間に再生させ活用するために、その保存や修景の方法と、保存・修景することの意義について、海外や国内の具体的な例をあげながら論ずる。後半では井口が、文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興（まちづくりや観光振興を中心に）の実態や望ましい在り方について考察していく。

到達目標

- (1) 地域文化財の調査、再評価、保存・活用について理解し、説明できること。
- (2) 地域文化財の活用したまちづくりのあり方について自らの考えを述べることができる。
- (3) 文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興の望ましい在り方について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)地域文化財の調査、再評価、保存・活用について理解し、説明できること、(2)地域文化財の活用したまちづくりのあり方について自らの考えを述べるができる、については濱崎の課題レポート(50%：(1)40%、(2)60%)で評価する。
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化財情報論					担当教員	濱崎 一志 / 石川 慎治
講義コード	1402940	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230HER202						

授業概要

文化財に関する視覚的な情報をどのように取り扱うかについて講義する。3次元モデルの構築、レンダリングやアニメーションの作成、2次元画像情報の処理などを、AutoCAD、3D Studioを用いて実際にデータを入力しながら説明する。

到達目標

- (1) 3次元で図形を描くことの基礎を理解する。
- (2) 3次元で古建築を描くことの基礎を理解し、3次元モデルを作成することができる。
- (3) 作成した古建築の3次元モデルを用いてアニメーションを作成し、視覚的に表現することができる。
- (4) 写実的なアニメーションを作成するため、3次元モデルに貼り付ける2次元データを処理することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1) 3次元で図形を描くことの基礎を理解する、(2) 3次元で古建築を描くことの基礎を理解し、3次元モデルを作成することができる、(3) 作成した古建築の3次元モデルを用いてアニメーションを作成し、視覚的に表現することができる、(4) 写実的なアニメーションを作成するため、3次元モデルに貼り付ける2次元データを処理する

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配付

前提学力等

履修資格

講義名	文化社会学					担当教員	武田 俊輔
講義コード	1402950	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230SOC201,235SOC304						

授業概要

本講義は、近現代の日本における観光や開発、地域おこしと呼ばれる現象が、地域社会とそこに住む人々に対してどのような影響を与えるのかについて、地域社会における「伝統的」とされる芸能や祭りの変化、そしてその担い手である地域住民の暮らしの変化を切り口として、考えていく視点を手に入れてもらうことをねらいとしている。祭り・芸能を手がかりとした講義だが、それらへの美学的関心というより、地域社会における政治的・経済的な状況、観光や地域振興と地域文化とを結びつけて考えていくことに対する関心を持つ人向けの講義である。

到達目標

- (1) 「伝統」とみなされている地域社会の文化が、近現代においてどのように創造、再編成されたのかについて理解できるようになる。
- (2) 「伝統」文化を経済的な活性化に生かそうとする国家・自治体の文化政策について知識を得る。
- (3) 「伝統」文化の創造と再編成の中で、人々がどのような影響を受け、またそうした状況をどのように活用しているのかについて考察できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1) 「伝統」とみなされている地域社会の文化が、近現代においてどのように創造、再編成されたのかについて理解できる(30%)。 (2) 「伝統」文化を経済的な活性化に生かそうとする国家・自治体の文化政策について知識を得る(30%)。
上記以外		

レスポンスカードの内容に基づいて加点する場合がある(5点以内)

授業外学習

教科書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ふるさと資源化と民俗学	岩本通弥編著	吉川弘文館	4642081909
2	長浜曳山まつりの舞台裏	市川秀之・武田俊輔(編著)	サンライズ出版	4883251705
3				

授業中にレジュメを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学概論 A					担当教員	島村 一平
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	2300TH204, 137BAC104						

授業概要

文化人類学は、異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある。国境を越えて様々な人々が行き交う現代、文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は、益々、重要性を持つものだと考えられる。俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。本講義ではこうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性がある。

到達目標

1) 文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に付けることができる。
2) まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方が身に付く。3) 一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性が見いだせるようになる。
4) 我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことも理解できるようになる。(日本の文化を相対的に眺めるという視点を身に付けることができるようになる)。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	穴埋め試験・・・文化人類学の基礎的な理論を理解できているか。あるいは著名な文化人類学者の名前なども問う。 記述試験・・・論理的であること。文化人類学の概念を正確に理解できていること。発想にオリジナリティがあること。
レポート課題	40	論理的であること。文化人類学の用語が正確に理解し、使えていること。ネット情報だけに頼らず、文献も調べていること。
上記以外		授業期間中に発言をした学生は、一回につき1点を加点していきます。

授業外学習

各回の該当する教科書の部分は、事前に読んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学カレッジ版	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2	文化人類学キーワード	山下晋司・船曳建夫	有斐閣	978464105886
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	よくわかる文化人類学	綾部恒雄・桑山敬己	ミネルヴァ書房	4623045773
2	よくわかる異文化コミュニケーション	池田理知子	ミネルヴァ書房	9784623056095
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	文化人類学概論 B					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402970	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	2300TH205, 137ILA101						

授業概要

文化人類学において蓄積されてきた知見のうち、生殖、親族関係、社会集団、また環境への適応や儀礼についての理論、事例を紹介する。

到達目標

文化人類学の広範な学術的蓄積の中で、特に社会関係についての理論、知見についての知識の獲得を目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学（カレッジ版）	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学特論					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	2300TH206,337ILA205						

授業概要

人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。
また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。

到達目標

性、誕生、死といった人間の普遍的な事象を考察することを通じて、文化の特殊性と、人間存在の普遍性についての考察を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業中に紹介した文化人類学のタームや理論について十分理解しているか。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学特論					担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	2300TH206, 3371LA205						

[illegible]

講義名	民俗学					担当教員	市川 秀之
講義コード	1403020	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	130HER103						

授業概要

民俗学はわれわれが過ごしている日常生活の意味を問い直す学問である。滋賀県の民俗は、古くから多くの民俗学者の研究対象となり、そこからさまざまな民俗学的知見が生成されてきた。宮座論・環境民俗学など滋賀県を母胎として誕生した研究領域も多い。この授業では、過去の研究や調査成果を紹介し、近江の民俗を具体的な事例としながら、民俗学全体を概括的に解説する。

この授業は民俗学特論や民俗学実習の基礎科目としての位置づけを持つ。

到達目標

- (1) 民俗学の基本的な用語を理解すること
- (2) 民俗の基本的な概念を理解し、それを文章の形で表現すること
- (3) フィールドワークの基礎を身につけること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	・ 民俗学の基本的な用語を理解すること（語句説明） ・ 民俗の基本的な概念を理解し、それを文章の形で表現すること（記述式）
レポート課題	20	年中行事の観察や聞き取りをおこない、その成果を文章で表現する
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードを通じて、各授業の内容を理解しているか否かを評価

レポートを提出しないと評価対象にしない

授業外学習

宿題は特に課さないが、毎回授業のあとで提出するレスポンスカードの内容については評価対象とする。レスポンスカードへの回答は次回に配布するので熟読すること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめて学ぶ民俗学	市川秀之ほか	ミネルヴァ書房	
2				
3				

毎回レジュメを配布する。

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	民俗学実習					担当教員	市川 秀之
講義コード	1403030	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	230HER205						

授業概要

民俗学の基本的な実務の習得をめざす。具体的には民具の観察・実測、石造物の調査、聞き取り調査、祭礼観察調査などの実習を行う。

到達目標

- (1) 民俗学研究に必要な実測技術、拓本技術などを習得すること。
(2) 聞き取り調査、祭礼などの観察調査を計画的に実施し、その成果をまとめ、発表する能力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業における態度や、成果物(実測図・トレース・写真など)・発表内容などをもとに評価する

授業外学習

授業時間外で、聞き取り調査や祭礼観察調査をまとめ、そのデータを提出する。2回

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

民俗学を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	民俗学特論					担当教員	市川 秀之
講義コード	1403031	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	330HER304						

授業概要

民俗の歴史的な変化を検討するのが歴史民俗学である。そのためにどのような資料をどのように用いるのかをこの授業では具体的に講義していきたい。古文書・日記から石造物にいたる具体的な資料を紹介しながら、その分析方法についても講義することとした。

到達目標

- (1) 歴史民俗学における基本的な概念・用語などを理解する。
(2) 歴史民俗学における資料の利用法について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	民俗学における基本的な概念・用語・資料操作方法などを十分理解しているか否かを評価する
レポート課題		
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードの内容から、授業の理解度を評価する

授業外学習

授業はレジュメをもとに行うが事前に配布したものについては熟読しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回レジュメを配布する

前提学力等

民俗学を受講していること

履修資格

講義名	モンゴル地域文化論					担当教員	島村 一平
講義コード	1403070	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

本講義では、モンゴル遊牧社会が生み出した文化の魅力をさまざまな側面から描き出していきたい。扱う主なテーマは音楽、宗教、民族問題である。音楽に関しては、民族音楽のみならず、現代の都市の若者たちの間で流行しているポピュラー音楽から、現代モンゴル社会のもつ諸問題を概観していきたい。民族問題に関しては、ロシア、モンゴル、中国の三カ国に分断されて居住するモンゴル系の集団ブリヤート人の歴史と社会に焦点を当てて話を進めていきたい。中でも、シャーマニズムとエスニシティの関係を中心に論じていく。

本講義は国際コミュニケーション学科の「アジア文化論C」を読み替えることで単位が取得されます。受講希望者は、アジア文化論Cを見ること。

到達目標

モンゴル文化の諸側面を理解する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	試験で100%評価する。記述式試験。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

遊牧社会論を履修していることが望ましい

履修資格

講義名	量的データ解析論					担当教員	丸山 真央
講義コード	1403100	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	230SOC206,235SOC204						

授業概要

この授業では、統計データの整理・分析に最低限必要な基礎知識を学ぶ。あわせて統計パッケージソフトSPSSの基本操作を習得し、実際のデータによる簡単な分析によって社会統計学に関する理解を深めるとともに、実践的な分析の技能の習得をめざす。

到達目標

(1) 社会統計のデータを整理・分析する基礎知識(記述統計と推測統計の基礎)を習得する。(2) 統計パッケージソフトSPSSの基本的な使い方を身につけ、実際に基礎的なデータ解析ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	到達課題の(1)と(2)について、実際の量的データを分析して作成するレポート課題を課す。
上記以外	70	到達課題の(1)と(2)について、実際の量的データを分析して作成する小課題を課す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、レジュメを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会統計学	ポーンシュテット・ノーキ	ハーベスト社	
2	社会統計学ベシク	片瀬一男ほか	ミネルヴァ書房	
3	SPSSによる多変量解析	村瀬洋一ほか編	オーム社	

参考書は授業の中で指示する。

前提学力等

社会調査論、統計学基礎が既習であることが望ましい。この条件を満たさず受講を希望する場合は必ず事前に相談すること。

履修資格

講義名	量的データ解析論					担当教員	岡本 裕介
講義コード	1403110	単位数	2	開講期	後期集中		
ナンバリング番号	230SOC207,335SOC311						

授業概要

人文学系・社会科学系の研究においても、多変量解析を用いてデータ分析することが多い。この講義では、その中から主として重回帰分析、因子分析、数量化理論Ⅰ・Ⅱ類を取り上げる。

到達目標

- (1)各手法の基本的な考え方を身に着けること（これが主たる目的）。
- (2)計算の概要、統計パッケージの出力の見方を理解し、各手法の誤用を避けられるようになること。
- (3)研究事例や歴史を紐解いて、具体的な問題意識との関連を考えられるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	演習問題を解いて提出する。多変量解析の場合、分析者の裁量の余地があるので、正解は1つではないが、基本的な注意事項をふまえて解答しているかどうかを評価基準とする。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。講義中に随時推薦する。

前提学力等

統計学基礎、量的データ解析論（平成22年度までは社会統計学）が既習であることが望ましい。この条件を満たさず受講を希望する場合は必ず事前に相談すること。

履修資格

講義名	歴史的地域論					担当教員	水野 章二
講義コード	1403210	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	230HIS210						

授業概要

地域社会を構成するイエ・ムラなどの基礎的な集団やその相互の関係が、どのように歴史的に形成され、変化していくかを明らかにする。文献史学・歴史地理学・考古学・民俗学などの成果を総合しながら、自然的社会的諸条件が地域を構成する諸集団の編成原理や秩序のあり方にどのように関わるのかを考える。

到達目標

- (1) 重層的に成立し、時間の中で変化していく地域社会のあり方が理解できる。
(2) 最も基礎的な社会集団であるイエ・ムラなどの歴史的役割が理解できる。
(3) 地域社会を成り立たせている景観的特質とその変容が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	(1) 重層的に成立し、時間の中で変化していく地域社会のあり方が理解できる。 20% (2) 最も基礎的な社会集団であるイエ・ムラなどの歴史的役割が理解できる。 30% (3) 地域社会を成り立たせている景観的特質とその変容が理解できる。 20%
レポート課題		
上記以外	30	到達目標各項目について、理解度を確認し、質問させるレスポンスペーパーを随時提出。

授業外学習

関連する著書・論文を各自で読み込む。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本中世の村落と荘園制	水野章二	校倉書房	4-7517-3090-8
2	琵琶湖と人の環境史	水野章二編	岩田書院	978-4-87294-691-8
3	中世村落の景観と環境	水野章二編	思文閣出版	4-7842-1198-5

前提学力等

履修資格

